

CAFITESSE QUANTUM TOUCH

ユーザーマニュアル



著作権

本マニュアルに含まれる情報はJacobs Douwe Egberts（以下「JDE」という）に帰属します。本マニュアルは、お客様が内部で使用することを目的として作成されました。

JDEの書面による事前の承諾なしに、本書のいかなる部分も、いかなる手段によっても、またはいかなる商業目的においても、使用、複製、翻訳、送信することはできません。

JDEは、技術データおよび装置情報を予告なく変更する権利を有します。

Jacobs Douwe EgbertsのロゴはJDEの登録商標です。

Copyright © Jacobs Douwe Egberts. All rights reserved.

| 改訂番号 | 年月日 | 通し番号 | 概要 |
|------|-------------|------|----------------|
| 1 | 2023年3月23日 | なし | 初回審査用リリース。 |
| 2 | 2023年7月14日 | なし | 技術的な見直しに従った更新。 |
| 3 | 2023年11月24日 | なし | 技術的な見直し後の更新。 |
| 4 | 2024年11月15日 | なし | 技術的な見直し後の更新。 |
| 5 | 2025年7月11日 | なし | 洗浄錠剤リストを追加。 |

目次

| | |
|---------------------------------|-----------|
| 1- 初回始動前 | 6 |
| 2- 安全上の注意事項 | 7 |
| 2.1 安全性のカテゴリ | 7 |
| 2.2 安全性と警告を示す標識 | 7 |
| 2.2.1 潜在危険標識 | 8 |
| 2.2.2 禁止標識 | 8 |
| 2.2.3 指示標識 | 8 |
| 2.3 ユーザーグループ | 9 |
| 2.4 安全上必要な注意事項..... | 9 |
| 2.5 一般的な注意事項 | 11 |
| 2.6 冷却システムに関する情報 | 12 |
| 2.7 摩耗部品の交換 | 13 |
| 2.8 梱包材の廃棄..... | 13 |
| 2.9 装置の廃棄..... | 13 |
| 2.11 ディスペンサーの整備..... | 14 |
| 2.12 ディスペンサーのクリーニング | 14 |
| 2.13 食品安全のための注意事項 (HACCP) | 15 |
| 3- 運搬と保管 | 16 |
| 4- 技術仕様 | 17 |
| 4.1 仕様 | 17 |
| 4.2 寸法 - Q100..... | 18 |
| 4.3 寸法 - Q200..... | 19 |
| 4.4 寸法 - Q300..... | 20 |
| 5- 各部の名称 | 21 |
| 5.1 正面図と背面図 | 21 |
| 5.2 内面図 | 22 |
| 5.3 各ボタンの機能 | 23 |
| 5.4 ディスプレイの説明..... | 23 |
| 6- 設置と初回始動 | 24 |
| 6.1 装置の開梱..... | 24 |
| 6.2 装置の設置..... | 25 |
| 6.3 ディスペンサーの始動..... | 26 |
| 6.4 ディスペンサーの保管方法 | 27 |
| 7- 原料パックの取り扱い方法 | 28 |

| | |
|--------------------------------------|-----------|
| 8- 通常の操作 | 29 |
| 8.1 安全な操作のために..... | 29 |
| 8.2 カップとポットの正しい置き方..... | 30 |
| 8.3 ドリンクの抽出 | 31 |
| 8.4 事前選択ボタンによるドリンクの抽出 | 32 |
| 8.4.1 「冷たい」の事前選択（オプション） | 32 |
| 8.4.2 「分量」の事前選択 | 32 |
| 8.4.3 「濃度」の事前選択 | 33 |
| 8.5 製品パックのセットと交換 | 34 |
| 8.6 空の製品パックの交換..... | 35 |
| 8.7 ディスペンサーのスイッチを入れる | 36 |
| 8.8 ディスペンサーのスイッチを切る..... | 37 |
| 8.9 ディスペンサーのロック/ロック解除..... | 38 |
| | |
| 9- クリーニング | 39 |
| 9.1 安全なクリーニングのために | 39 |
| 9.2 クリーニングの手順..... | 40 |
| 9.3 本体外側のクリーニング | 41 |
| 9.4 洗浄 | 42 |
| 9.5 クリーニング - Q100およびQ300 | 44 |
| 9.6 クリーニング - Q200 | 47 |
| | |
| 10- ユーザープログラミング | 51 |
| 10.1 オペレーターモードを有効にする | 51 |
| 10.2 UIの設定 | 52 |
| 10.3 日付/時刻 | 53 |
| 10.4 言語 | 53 |
| 10.5 エコ設定 | 54 |
| 10.6 夏時間/冬時間 | 55 |
| 10.7 ハッピーアワー | 55 |
| 10.8 自動販売 | 56 |
| 10.9 リセットできないカウンター | 57 |
| 10.10 クリーニングのスケジュール | 58 |
| 10.11 リセット可能カウンター..... | 59 |
| 10.12 給水システム..... | 60 |
| 10.13 システム情報..... | 60 |
| 10.14 連絡先情報..... | 61 |
| 10.15 保守用PIN..... | 61 |
| 10.16 ドリンクに関するグローバル設定 | 61 |
| | |
| 11- 表示メッセージとトラブルシューティング | 62 |

| | |
|------------------------|-----------|
| 12- オプション | 63 |
| 12.1 ソフトウェアオプション | 63 |

1- 初回始動前

本マニュアルには、CAFITESSE QUANTUM TOUCHの基本的な操作要件を含む、装置の安全な取り扱い方法に関する注意事項と情報が記載されています。

本マニュアルに記載されているすべての説明は、本装置の納入品のモデルおよび外観と一致しています。

本マニュアルは、消費者、整備担当者、保守・修理の専門家、および運営会社自体が利用できます。

装置の使用期間中は、すべてのユーザーがいつでも本マニュアルを確認できる状態にしておく必要があります。

本装置の操作、保守、修理を行う前に、本マニュアルを読み、理解しておいてください。

本マニュアルを無断で複製・貸与することを禁じます。

本マニュアルに記載されていない内容や、操作に関する不明な点については、技術的サポートを受けるためにJDEまでお問い合わせください。

本装置の使用期間中は、本マニュアルを大切に保管してください。

本マニュアルを装置の近くの容易に参照できる場所に保管しておくことをお勧めします。本マニュアルのいかなるページも削除しないでください。

本マニュアルを紛失した場合、破損した場合、または読めない状態にした場合は、マニュアルを以下からダウンロードしてください：

<https://www.jacobsdouweegbertsprofessional.support/>

本マニュアルを容易にご利用いただくために、本マニュアルでは以下の表記規則を使用しています：





- タスクと手順は、ステップバイステップのリストとして表示されています。
- 操作の順序が重要でない例やタスクには、順序のないリストが使用されています。
- 警告文と、表の行と列の見出しには、**太字フォント**が使用されています。
- 注記のテキストと、図および表のキャプションには、*イタリック体*のフォントが使用されています。

2- 安全上の注意事項

2.1 安全性のカテゴリ




本書では、発生する可能性がある損害や怪我を防ぐために、特別な注意を払う必要がある場合に危険、警告、注意、注記の記述が使用されています。

警告の記述は、ISO 3864規格で規定されている潜在危険の重大度とリスクのレベルに従って、以下の4つのカテゴリに分類されます。

| | |
|---|--|
|  | <p style="text-align: center;">⚠ 危険</p> |
|  | <p style="text-align: center;">⚠ 警告</p> |
|  | <p style="text-align: center;">⚠ 注意</p> |
|  | <p>「注記」では、重要な情報と役立つヒントが示されます。</p> |

2.2 安全性と警告を示す標識

ISO 3864規格では、危険、警告、および注意の各標識の一般的な形と色が規定されています。

| | |
|---|---|
|  | <p>潜在危険: 潜在危険を示します。</p> |
|  | <p>禁止: してはならない操作を示します。</p> |
|  | <p>指示: 危険な状況になることを避けるために必要な措置を示します。</p> |

2.2.1 潜在危険標識

これらの潜在危険標識は、危険な状況や操作を示し、損傷や怪我の原因となる状況を警告するものです。



表面が高温になる潜在危険



感電の潜在危険



手が押しつぶされる潜在危険



表面の温度が上がる潜在危険

2.2.2 禁止標識

これらの禁止標識は、危険な状況や操作を示し、損傷や怪我の原因となる状況を警告するものです。



禁煙



接触禁止



改造禁止



火気厳禁



立入制限

2.2.3 指示標識

これらの指示標識は、警告において指示を示すために使用されます。



マニュアルまたは注意事項を読むこと



主電源プラグを抜く

2.3 ユーザーグループ

ユーザー:お客様、消費者、または直接のオペレーターを指します。こうしたユーザーが、コーヒーマシンを使用してドリンクを抽出します。ただし、メーカー、運営会社、販売店による適切なトレーニングを受けることなくコーヒーマシン内部の部品やプログラミングに接触することはできません。

整備担当者:メーカー、運営会社、または販売店によるトレーニングを受けており、コーヒーマシンの補充方法とクリーニング方法を把握している担当者です。

整備技術者:コーヒーマシンを熟知しており、それに伴う潜在危険を認識することができる専門家です。メーカー、運営会社、または販売店によるトレーニングを受けており、コーヒーマシンを設置、保守、および修理することができます。

運営会社:コーヒーマシンを適切にセットアップし、操作する責任があります。



注記:

運営会社またはメーカーから適切な指導を受けていない限り、本装置の整備、保守、または修理を行うことは許可されていません。

2.4 安全上必要な注意事項

⚠ 危険



承認されていない人が、JDEの書面による同意なしに、コーヒーマシンの設置、操作、修理、停止を行うことは禁止されています。



承認されていない人が整備部分に接触すること、特に触れて操作すること、クリーニング作業を行うこと、適切な衛生状態の保守作業を行うことは禁止されています。



JDEの書面による同意なしに、コーヒーマシンおよびその付属品を改造しないでください。



死亡や怪我または製品の破損を防ぐため、JDEの書面による同意なしに、本マニュアルに記載されていない目的でコーヒーマシンを使用することは避けてください。



本機、プラグまたは電源ケーブルを水に浸けないでください。感電する危険があります。



身体的、感覚的または精神的な能力に障害のある方または経験や知識が十分でない方（お子様を含む）による本装置のご使用は、安全責任者が本機の使用に関する指示または説明を与えていない限りお控えください。



お子様が本装置で遊ばないようにしてください。



電源ケーブルやプラグに損傷がある場合、または本機が倒れた場合、本装置を使用しないでください。



監視していない状態でお子様にクリーニングやお手入れをさせないでください。

⚠ 警告



本マニュアルおよび付属品のマニュアルを読んで理解しない限り、本装置を使用しないでください。
製品の使用時は、安全上の注意事項に従ってください。



緊急時（装置の出火、異常な高温、異常な作動音など）には、ただちに電源ケーブルをコンセントから抜いて、給水を停止してください。



電源コードが損傷している場合、メーカー、サービス代理店または同様の資格を有する人にコードの交換を依頼する必要があります。



お子様が本装置で遊ぶことのないよう、十分ご注意ください。

トレーニングを受けた担当者のみがオペレーター用キーを使用できるようにしてください。

本装置を設置する国で適用される法律に従って、本装置に付属しているインレットホースを使用して、水道に連結してください。本装置を水道に連結する場合、付属の新しいホース以外は使用しないでください。破損したホースは絶対に再利用しないでください。

高圧洗浄機が使用される可能性のある場所は、本機の設置には適していません。高圧洗浄機を使用して本機をクリーニングしないでください。

本機が凍結しないようにしてください。水圧システム内の水が凍結した場合、本機を使用しないでください。電源ケーブルのプラグを抜き、技術者に点検を依頼して必要な修理を行ってください。



本機の電源プラグは、必ず本機の仕様に適合する定格電圧の適切に設置された接地極付きコンセントに差し込んでください。

2.5 一般的な注意事項



⚠ 警告

ディスペンサーから抽出される液体は、大変熱くなっています！火傷に注意してください！ドリンクが注がれている間や、洗浄プログラムが作動している間は、本ディスペンサーに手や身体を近づけないでください。

熱い液体が入ったカップ、ポット、または容器をディスペンサーの上に置かないでください。カップ/ポット/容器が落下して、火傷を負う恐れがあります。

熱い液体がはねた場合にすぐに離れることができるよう、ディスペンサーの周囲には十分はスペースを確保してください。

このディスペンサーは、（お子様を含む）身体的、感覚的または精神的能力が不足している方またはディスペンサーの経験や知識が十分でない方の使用には適していません。ただし、安全責任者の監視下に置かれる場合や、ディスペンサーをどのように使用するか指示を受けた場合は、この限りではありません。

幼児がドリンクボタンを押せないように、高さが60 cm（24インチ）以上のテーブルやカウンターの上にディスペンサーを設置してください。

本機の筐体または内部機構の換気孔を塞がないでください。

メーカーから推奨されている方法以外の機械装置などを使用して霜取りを速めようとししないでください。

冷媒回路を損傷させないでください。

メーカーから推奨されているタイプでない限り、本機の食品収納スペースの内部で電気器具を使用しないでください。

本機を置くときに、電源コードが引っかかったり、損傷したりしないように注意してください。

本機の背面には、ポータブル型コンセントやポータブル型電源装置を複数設置しないでください。

本機に爆発物（可燃性の高圧ガスの入ったエアゾール缶など）を保管しないでください。

⚠ 注意



ドリップトレイから熱湯があふれて、火傷を負うリスクや床が濡れる（滑る危険）のを避けるために、ディスペンサーのドリップトレイを定期的を確認し、中の液体を廃棄してください。

ディスペンサーを使用、クリーニング、または移動する前に、本ユーザーマニュアルの注意事項を入念にお読みください。ディスペンサーを操作、クリーニング、または移動するすべての人が、ディスペンサーの安全面と衛生面についての知識を持ち、それに従って行動するようにしてください。

ドリンクを抽出するときは、必ず本ユーザーマニュアルに記載された手順に従ってディスペンサーの操作を行ってください。当社は、ディスペンサーの不適切な使用、または本ユーザーマニュアルに記載された手順を守らなかったことにより発生した損傷や怪我について、一切の責任を負わないものとします。

- 本装置の設置、整備、修理、およびプログラミングを実施できるのは、Cafitesseシステムサプライヤーから派遣される、適切なトレーニングを受けた認定の整備技術者のみです。
- ディスペンサーが正常に機能するように、純正スペアパーツのみを使用してください。
- ディスペンサーの操作、補充、およびクリーニングを実施できるのは、トレーニングを受けた認定の担当者のみです。
- 本ディスペンサーは、屋外での使用には適していません。
- 本ディスペンサーは、トレーニングを受けた担当者が監視できる場所に設置する必要があります。

2.6 冷却システムに関する情報

- メーカーから推奨されている方法以外の機械装置などを使用して霜取りを速めようとしないでください。
- 冷媒回路を損傷させないでください。
- メーカーから推奨されているタイプでない限り、本機の食品収納スペースの内部で電気器具を使用しないでください。
- 本機に爆発物（可燃性の高圧ガスの入ったエアゾール缶など）を保管しないでください。
- 本機の冷却装置には炭化水素が含まれています。冷媒回路の保守または冷媒の再充填は、有資格者のみが行うことができます。
- 本機の中に引火性液体で濡れているものや可燃性製品を入れないでください。本機の中に可燃性のガスまたは液体を保管しないでください。
- コンプレッサーやコンデンサーには触れないでください。これらの表面の温度が高くなる場合があります！
- 冷媒回路に損傷が発生した場合、室内に火などの発火源がないことを確認してください。火災防止のため部屋を換気してください。

2.7 摩耗部品の交換

⚠ 警告



液体による自然な劣化で生じた不具合については、保証の対象外となります。

CAFITESSE QUANTUM TOUCHには、規定されている整備手順で装置が保守される場合でも、通常の使用によって生じる液体で劣化する部品が含まれていることにご注意ください。特に、ホース、シール、バルブなどの、熱湯に接する機械部品や部分が挙げられます。

液体による自然な劣化で生じた不具合については、保証の対象外となります。ただし、不具合が生じた部品の交換は、必ずメーカーのトレーニングを受けた認定の整備技術者が行うようにしてください。

2.8 梱包材の廃棄

⚠ 警告



梱包材にはさまざまな再生可能材料が使用されています。梱包材は、将来の運搬に備えて保管しておくことをお勧めします。

設置後に梱包材を廃棄する場合は、リサイクルするか、環境を考慮した方法で廃棄してください。

2.9 装置の廃棄

本装置の廃棄は、地域の廃棄に関する規制に従ってください。

本装置はWEEE/EU指令（Waste Electrical and Electronic Equipment Directive）の対象となるため、通常の一般廃棄物と一緒に処分しないでください。

許可なく圧縮冷媒を大気中に放出しないでください。許可を受けた人による回収が必要になることがあります。冷媒ガスの回収が必要になった場合、免許を持つ有資格者による作業が必要です。

2.11 ディispenserの整備

⚠ 警告



ディispenserの電源ケーブルが損傷している場合は、ディispenserの電源を切り、Cafitesseシステムサプライヤーに連絡して交換を依頼してください。

本ディispenserの整備、修理、およびプログラミングを実施できるのは、Cafitesseシステムサプライヤーから派遣される、適切なトレーニングを受けた認定の整備技術者のみです。

2.12 ディispenserのクリーニング

⚠ 危険



ディispenserに水を吹きかけたり、浴びせたりしないでください。クリーニングに高圧洗浄機を使用しないでください。絶対にディispenserを水に浸けないでください。

ディispenserの後ろや下をクリーニングする場合は、絶対にディispenserを傾けないでください。

火傷に注意してください！ボイラーには熱湯が入っています。ディispenserを傾けたり、動かしたりするとこぼれ出る危険があります。

⚠ 注意



洗剤を使用して、製品に接触するすべてのディispenserの部品をクリーニングしてください。食品業界とCafitesseシステムサプライヤーが推奨する洗剤のみを使用してください。洗剤を安全に取り扱い、計量し、使用するために、洗剤のラベルに記載されている注意事項に従ってください。

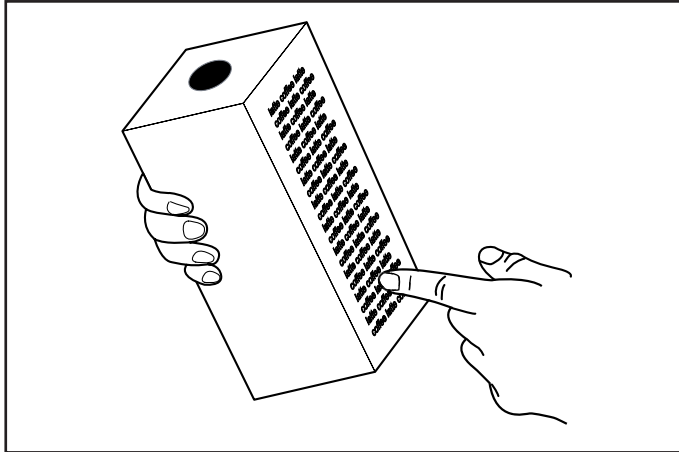
定期的にディispenserをクリーニングする

1. ディispenserの表面をクリーニングします。
2. ディispenserや製品パックに触れる前に手を洗います。
3. ユーザーマニュアルに記載された手順に従ってディispenserをクリーニングします（「ディispenserのクリーニング」の章を参照）。
4. クリーニングの際に、ディispenser内の製品パックに記載されている「賞味期限」と「消費期限」の日付を確認してください。「賞味期限」と「消費期限」が切れている場合は、製品パックを交換してください。
5. クリーニング作業の計画を立てて、点検簿に記録するようにしてください。

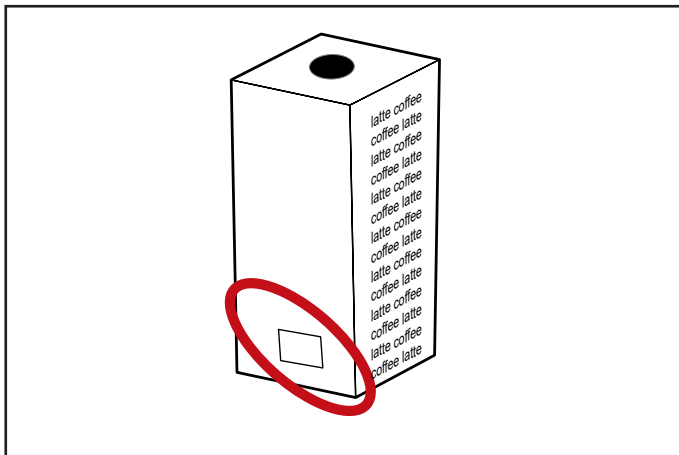
2.13 食品安全のための注意事項（HACCP）

本ディスペンサーのオペレーターは、安全で衛生的な操作を行う責任があります。したがって、食品安全の標準を満たすために、下記の注意事項を守ってください。

製品パックの保管



1. パッケージの説明に従って、製品パックを保管します。



2. パッケージに印刷されている「賞味期限」の日付に注意してください。常に「first in - first out」（最初に保管した製品パックを最初に使う）という原則に従って、製品パックを使用してください。「賞味期限」が切れている製品パックは使用しないでください。



注記:

製品パックが開いている場合は、液体を衣類、床、またはその他の装置にこぼさないようご注意ください。

3- 運搬と保管

⚠ 危険



運搬中は本装置を傾けないでください。
複数の装置を積み重ねないでください。

本装置の上に物を置かないでください。
運搬中は、衝撃や振動から本装置を保護してください。



梱包材は、お子様の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 警告



ディスペンサーは、稼働中、保管中、または輸送中に霜による問題が発生するとは限りません。

周囲の温度が5～32°Cの範囲内の場所でのみ、本装置を操作および保管してください。

周囲の湿度が10～90% RHの範囲内の場所でのみ、本装置を操作および保管してください。

本装置は、常に水気やほこりのない状態を保ってください。

⚠ 注意



外箱とすべての梱包材をリサイクルしてください。

ディスペンサーを輸送または保管する際は、必ず納品時の梱包材に入れてください。
ディスペンサーを保管または輸送する前に、以下のことを行ってください。

- 製品パックを冷蔵庫に入れます。
- ディスペンサーをきれいにしてください。
- 担当のCafitesseシステムサプライヤーに連絡してください。トレーニングを受けた認定の整備技術者がボイラーから水を排出し、ディスペンサーを霜による損傷から守ります。

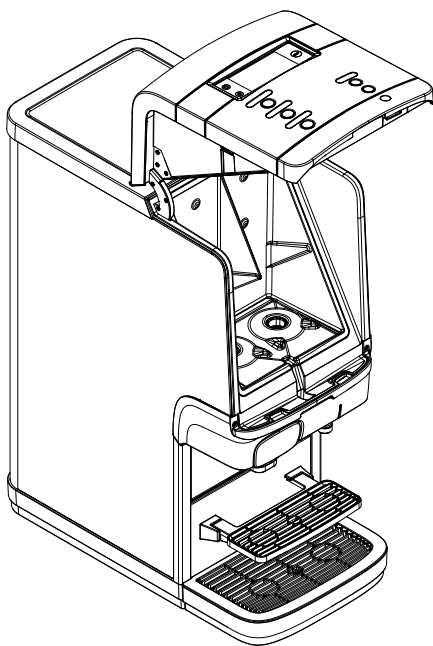
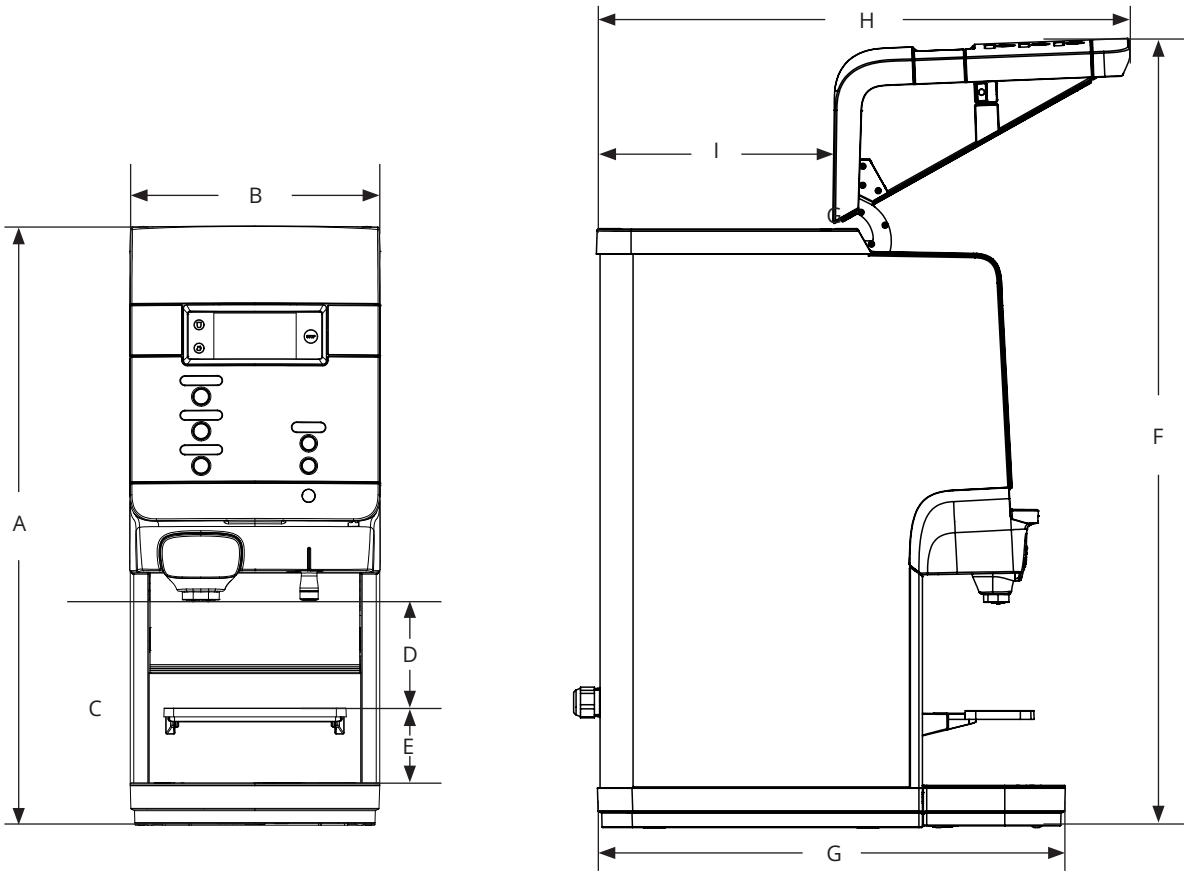
保管後または運搬後に霜による損傷が生じたと思われる場合、担当のCafitesseシステムサプライヤーに連絡して、ディスペンサーの点検と機能テストの実施を依頼してください。

4- 技術仕様

4.1 仕様

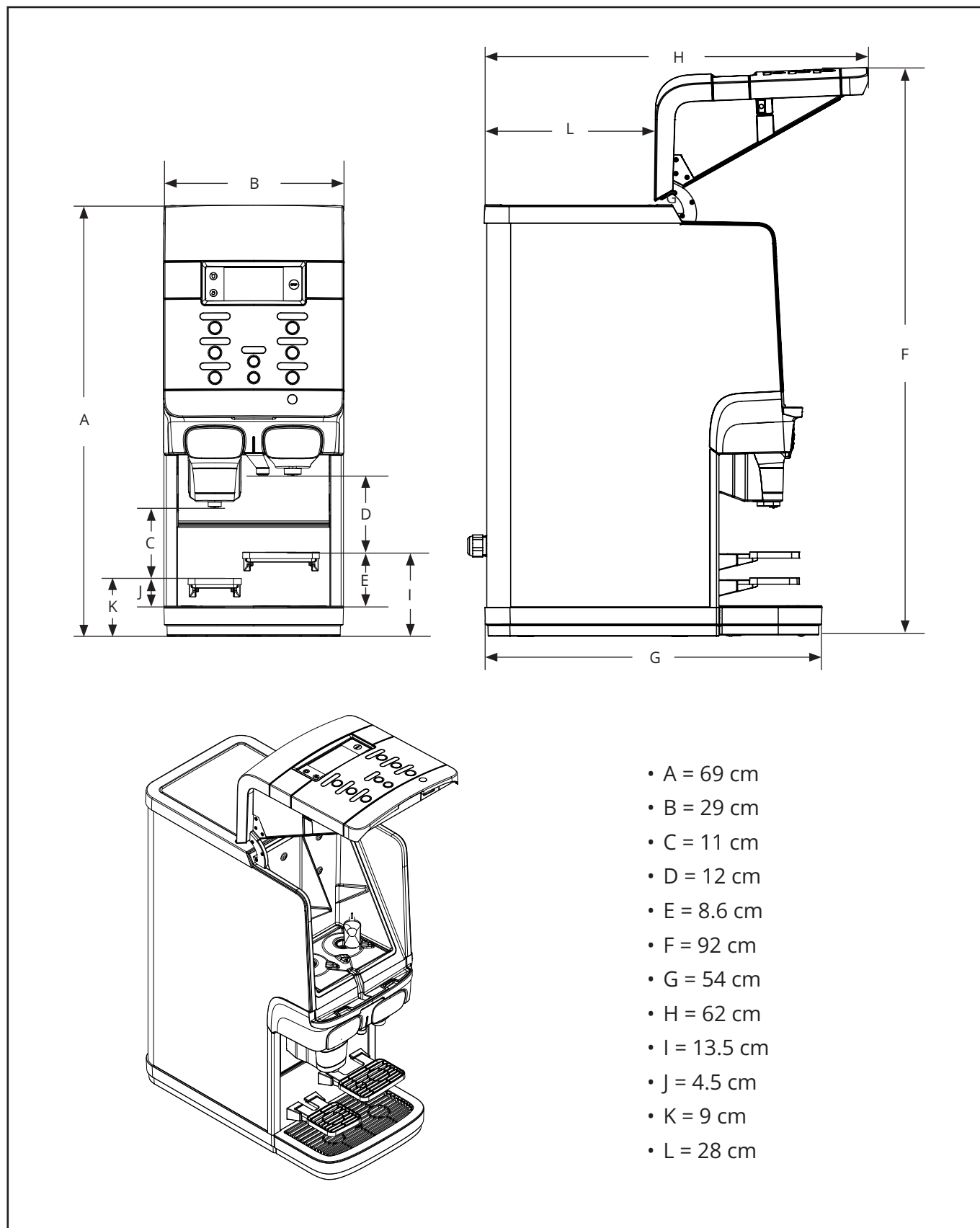
| 仕様項目 | 概要 | |
|--|---|--------------------|
| 重量 | 42Kg (空の状態) 52Kg (給水タンク付きで作動するタイプ) | |
| カップの分量 | コーヒーのデフォルト設定: 小 = 100ml、中 = 125ml、 大 = 180ml | |
| ポットの分量 | コーヒーのデフォルト設定: 小 = 750ml、中 = 1000ml、 大 = 1250ml | |
| 電源 | CQT100/JP-BL-ST-1G | 100V、単相 最大1200W |
| | CQT100/JP-BL-ST-1B | 200V、単相 最大2400W |
| | CQT100/JP-BL-ST-2C | 200V、三相 最大5800W |
| 1時間あたりの供給量 - 設定: 200-240V、単相、16A - 給水温度: 25 °C - 125mLのカップで測定 | 41L/時間 | |
| | 325杯/時間 | |
| 保管・使用環境 | 気温: 5~32 °C 湿度: 10~90% | |
| 冷却コンパートメント | 容量: 2 x 2L/1.25L/0.75Lパック 温度: 2~5 °C | |
| ボイラー | 容量: 9.6L 温度: 80~97 °Cで調節可能 | |
| 標準的な給水接続部 | 1/2"または3/8"の給水管と3/4"のBSP継手 | |
| 接続部の水圧 | 動圧: 9L/分で0.8~10bar | |
| | 静圧: 0.2~10bar | |
| 冷媒 | R600aを0.0175kg | |

4.2 寸法 - Q100

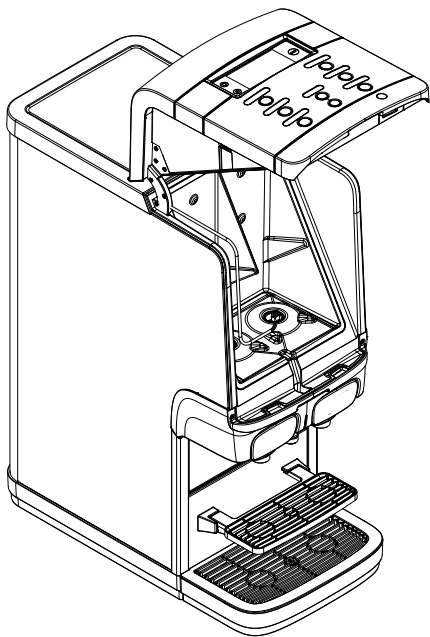
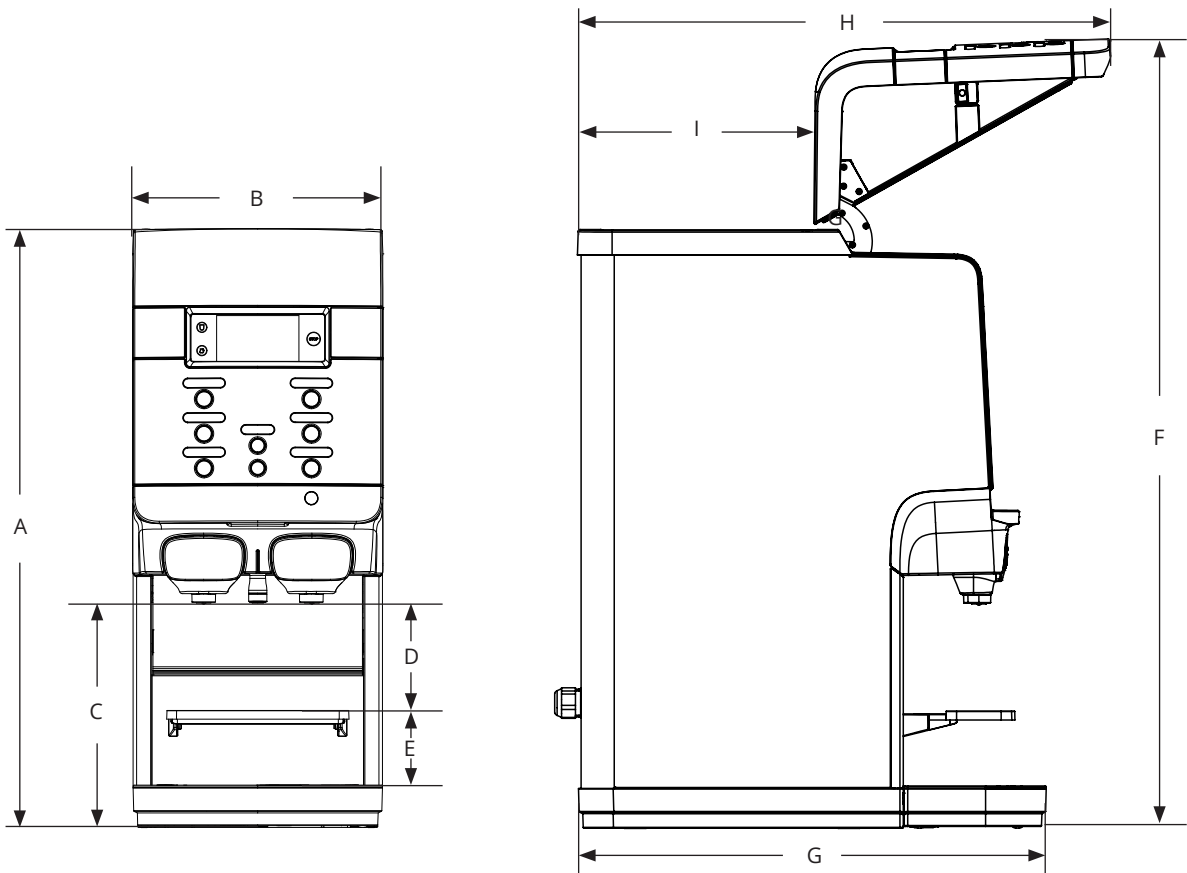


- A = 69 cm
- B = 29 cm
- C = 26 cm
- D = 12 cm
- E = 8.6 cm
- F = 91 cm
- G = 54 cm
- H = 62 cm
- I = 28 cm

4.3 寸法 - Q200



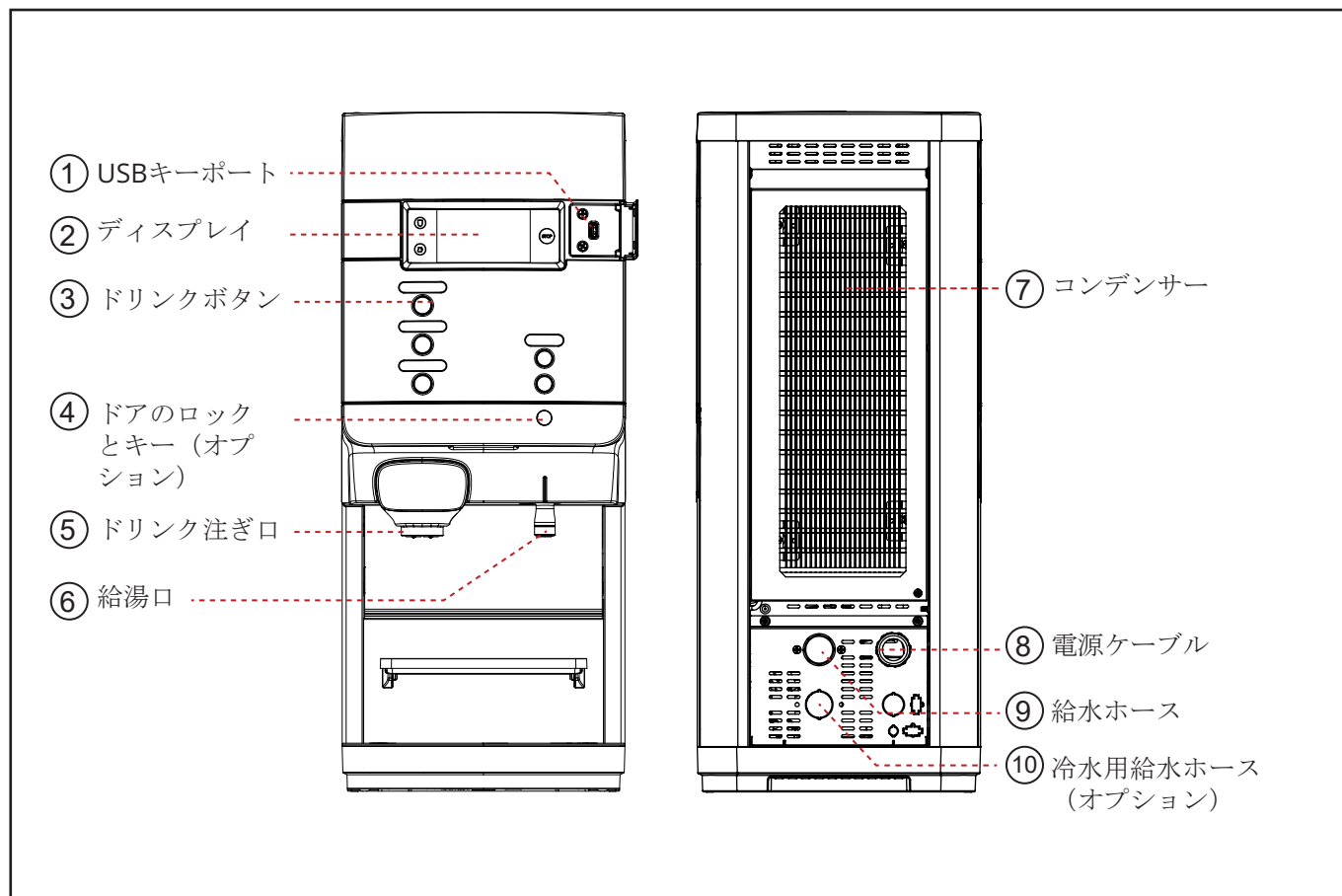
4.4 寸法 - Q300



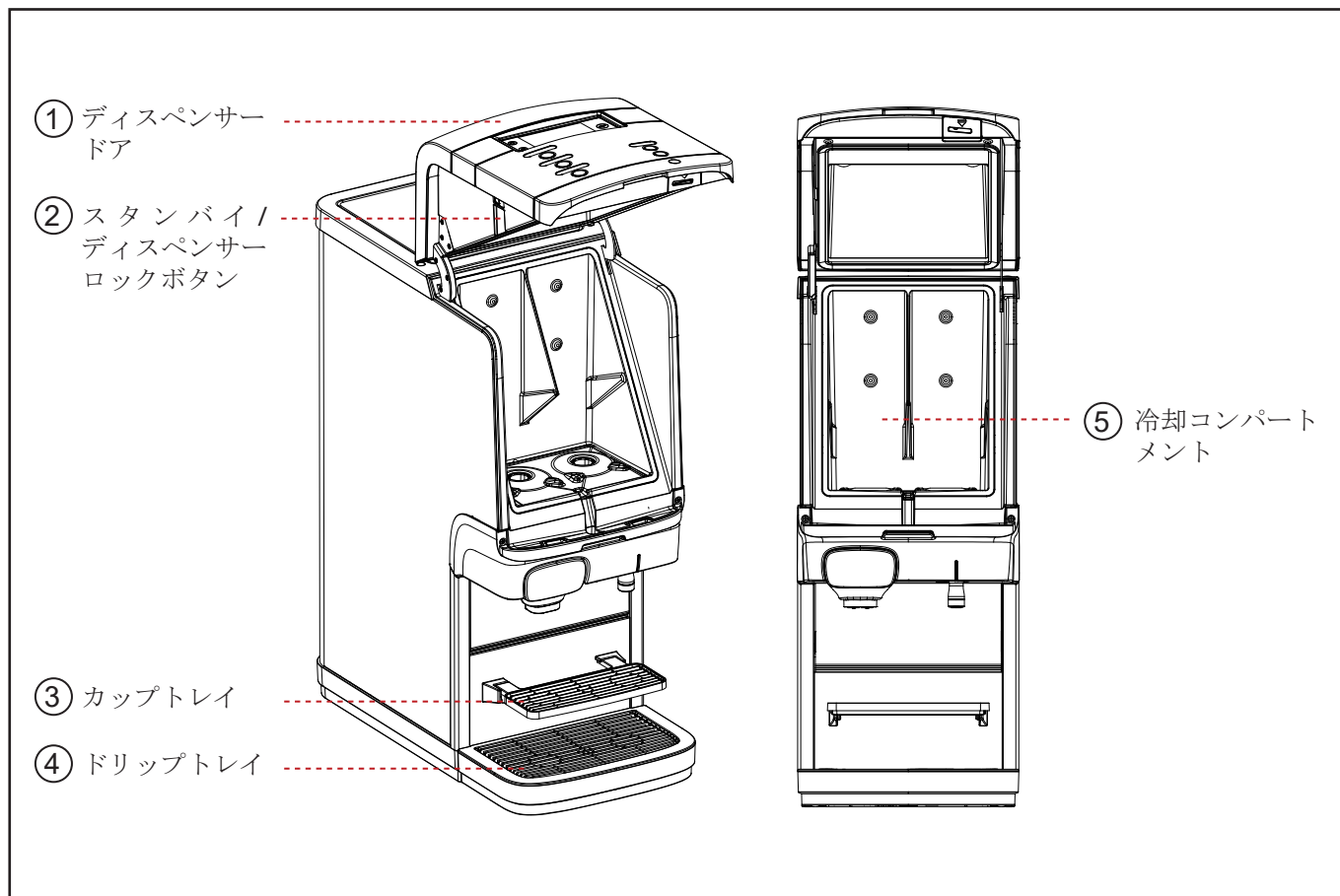
- A = 69 cm
- B = 29 cm
- C = 26 cm
- D = 12 cm
- E = 8.6 cm
- F = 91 cm
- G = 54 cm
- H = 62 cm
- I = 28 cm

5- 各部の名称

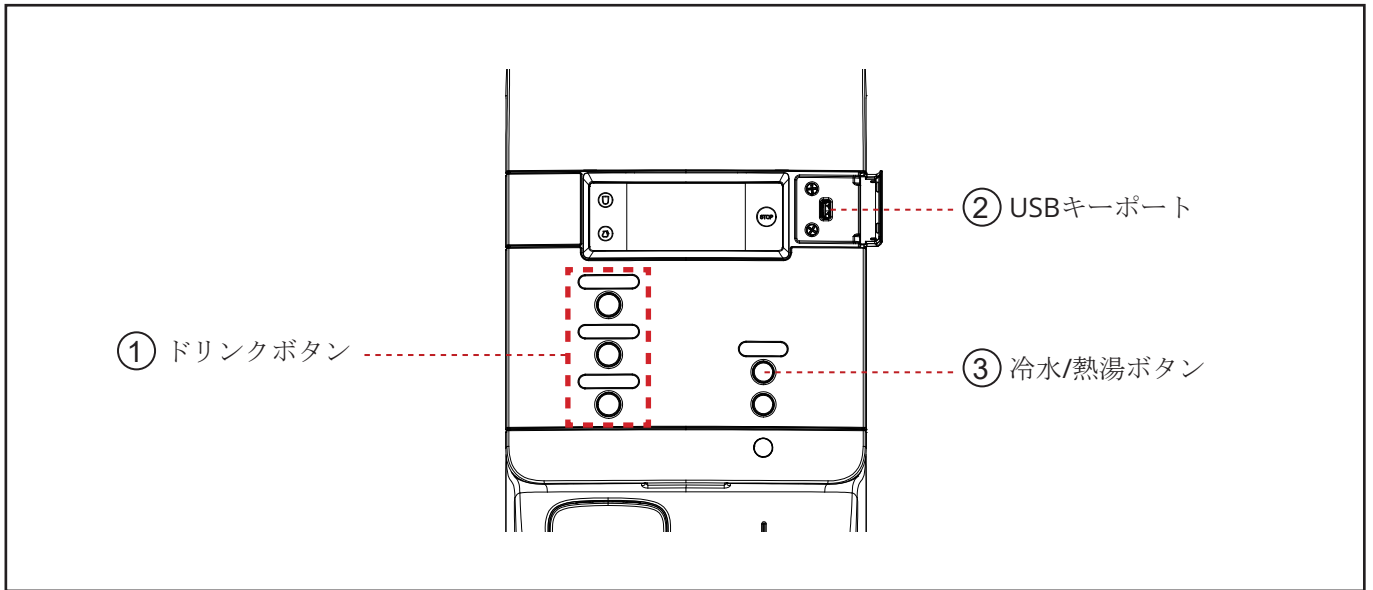
5.1 正面図と背面図



5.2 内面図



5.3 各ボタンの機能



注記:
販売地域により、一部のオプションがご利用いただけない場合があります。

5.4 ディスプレイの説明

メッセージスペース(A)-メッセージが表示されます*

*メッセージの詳細については、「トラブルシューティング」の項を参照してください。

| アイコン表示部(B)の説明文 | |
|----------------|--------------|
| | 空のパックの交換 |
| | クリーニングが必要 |
| | 抽出がロック済み |
| | 抽出がロックされていない |

6- 設置と初回始動

⚠ 警告



端部がとがっています！手を切る可能性があります。
とがっている端部付近で作業する場合は耐切創性グローブを着用してください。



本ユーザーマニュアルをよく読んでから、本装置の設置と初回始動を行う必要があります。

⚠ 注意



本装置が搬送中に明らかな損傷を受けていないか、見えない損傷がないかを納入時に確認してください。損傷が確認された場合は、すぐに当該の運送会社にお知らせください。

6.1 装置の開梱

⚠ 警告



梱包材は適切かつ環境に配慮した方法で廃棄してください。



設置中に保護フィルムをすべて取り除いてください。これは初めて装置の電源をオンにする前に行う必要があります。
こうすることで、装置の加熱中に高温でフィルムが溶けたり、固まったりするのを防ぐことができます。

荷箱のサイズは 45cm×68cm×91cm です。

本装置を取り出した後の梱包材は、将来の運搬に備えて保管しておくことを強くお勧めします。

6.2 装置の設置

⚠ 危険



感電する可能性があります。
絶対に、濡れた手で通電中のケーブルや部品に触れないでください。
電気に関する事故防止の規制を遵守してください。

⚠ 警告



本装置の設置は、保守技術者のみが行うことができます。
本装置は、適切な場所に設置されて、トレーニングを受けた担当者によって監視される必要があります。



本装置は、乾燥した通気性のよい部屋でセットアップして操作する必要があります。
保守作業、クリーニング作業、および修理作業を行う場合は、装置の周囲に十分なスペースがあることを確認してください。
給水ホースがよじれていないことを確認してください。



本装置を設置する場所の動作条件に銘板の電気データが対応していることを確認してください。

⚠ 注意



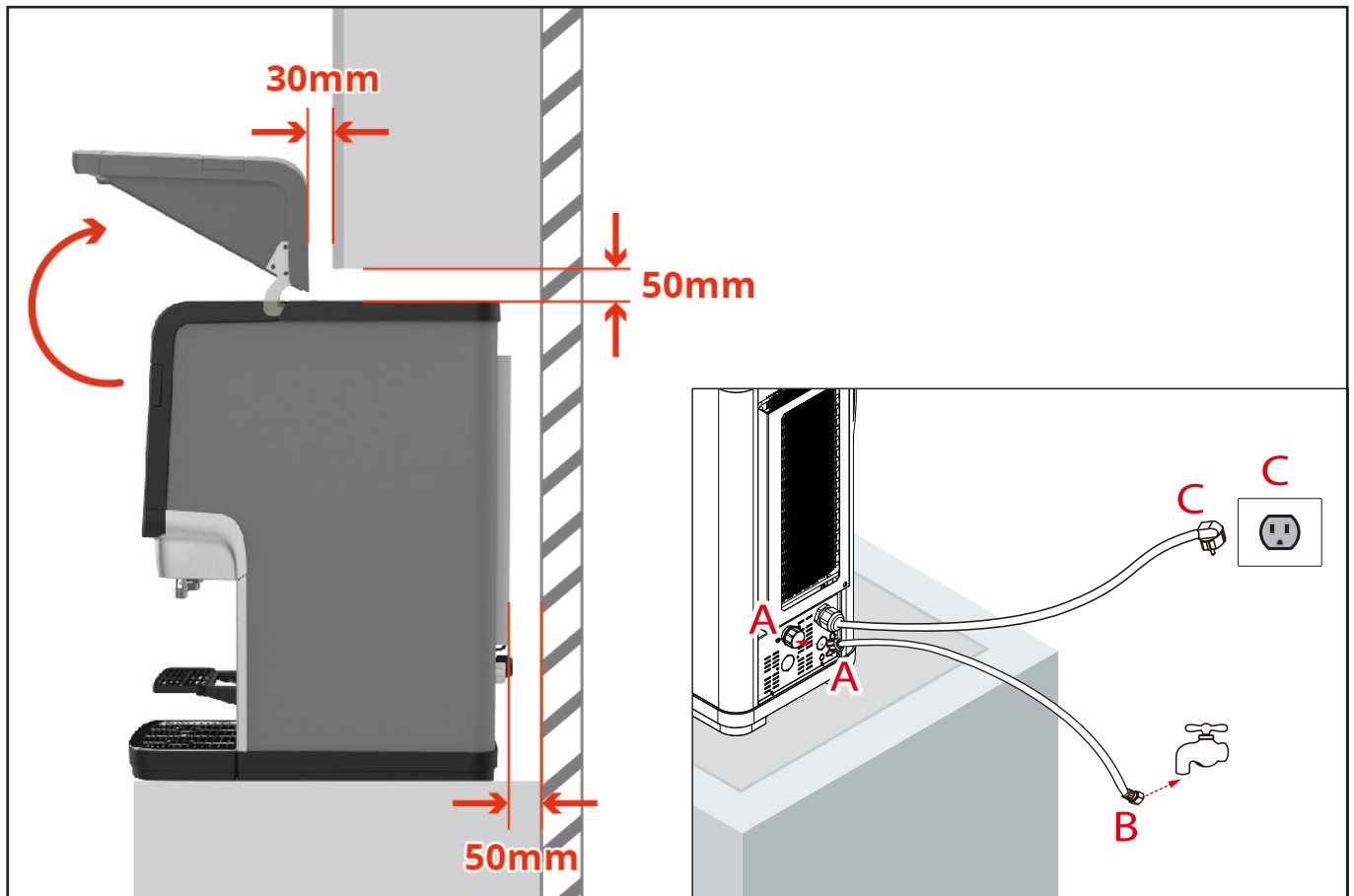
本装置を操作する前に、設置する国の電源の詳細を確認してください。
電圧が不安定な場合は、本装置を電源に接続しないでください。



給水の水質悪化にご注意ください！
メーカーが承認した、飲料水に適した給水ホースのみを使用してください。
給水ホースは、使用前に十分に洗浄してください。

6.3 ディispenserの始動

本装置を設置するときは、以下の画像で示されている寸法の障害物のない空間が必要になります。



1. 平らな水平面にディスペンサーを配置します。
2. 給水ホースを接続します (AとA)。
3. 水栓 (B) を開いて、漏れがないかどうかを確認します。
4. 電源プラグをアース付きの壁面のコンセントに差し込みます (CとC)。ディスペンサーが自動的に起動します。
5. 自動的にボイラーに水が注入されて加熱されます。
6. ボイラーの水が適切な温度に達したら、ドリンクが抽出されるようになります。



注記:
冷却コンパートメントが完全に冷えるまで20時間かかる場合があります。



注記:
緊急時に速やかに給水を停止できるように、容易に手の届く給水地点に本装置を接続するようにしてください。



注記:
本装置の電気接続 (壁面のコンセント) には、漏電遮断器 (ELCB) が必要です！

6.4 ディスペンサーの保管方法

本ディスペンサーを長期間使用しない場合（長期休業中など）は、以下の手順を実施してください。

- 製品パックを取り外し、消費期限を確認します。消費期限が迫っている場合、そのパックは処分してください。
- 開封済みの製品パックは、ディスペンサーの使用を再開してディスペンサーが元通りに冷えるまで冷蔵庫で保管します。消費期限が過ぎている場合、そのパックは処分してください。
- ディスペンサーのクリーニングと洗浄を行います。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 水栓を閉じます。



注記:

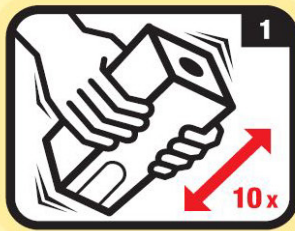
ディスペンサーを長期間使用しなかった場合は、日付と時刻を設定し直す必要があります。これによりプログラム済みのクリーニングサイクルとエコ設定が再度有効になります。

7- 原料パックの取り扱い方法



注記:

- 原料パックを扱う人のそれぞれが必ず、基本的な衛生手順を守るようにしてください。原料パックを扱う前には、手を洗ってください。
- ドリンクディスペンサーには、食器用洗剤のみを使用してください。ディスペンサーの外側は、清潔な濡れた柔らかい布でふいてください。
- 新鮮な飲用水のみを使用してください。



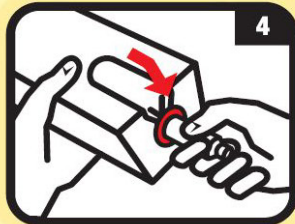
- 手を洗ってから、パックを10回以上振り、その後プラスチックフィルムを取り除きます。



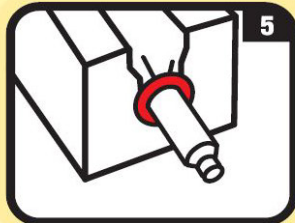
- ミシン目のついた細い部分をパックからはがします。



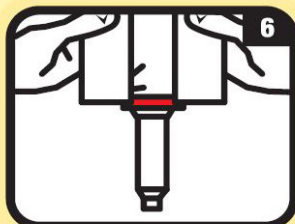
- パックから投入チューブを引き出します。



- 投入チューブをパックの赤いリングの方へ引きまます。



- 投入チューブの赤いリングが、パック表面の赤いリングに重なるようにしてください。投入チューブがまっすぐになり、正しい位置にあることを確認してください。



- パックを逆さにして、ディスペンサーに取り付けます。

8- 通常の操作

8.1 安全な操作のために

危険



火傷や火傷によって重傷を負うのを避けるために、操作中は絶対に給湯口のすぐ下に手や指を入れないでください。

警告



本マニュアルを読んで理解しない限り、本装置を使用しないでください。本装置の使用時は、安全上の注意事項に従ってください。



注がれるドリンクは熱くなっています。火傷に注意してください！
ドリンクが注がれている間は、本ディスペンサーに手や身体を近づけないでください。
本ディスペンサーの近くで、お子様から目を離さないでください。



直接か間接かを問わず、通電中の部品、損傷した電源ケーブルまたはプラグには触れないでください。
電気装置は、電気技術者または電気技術者の監視下の作業者が、電気に関する規制に従って操作する必要があります。



本書に掲載されているスクリーンショットはあくまでも参考であり、特定の手順や説明を示すためのものです。これらのスクリーンショットの内容は拘束力を持つものではなく、場合を問わず、本装置の設定や操作には使用しないでください。

8.2 カップとポットの正しい置き方

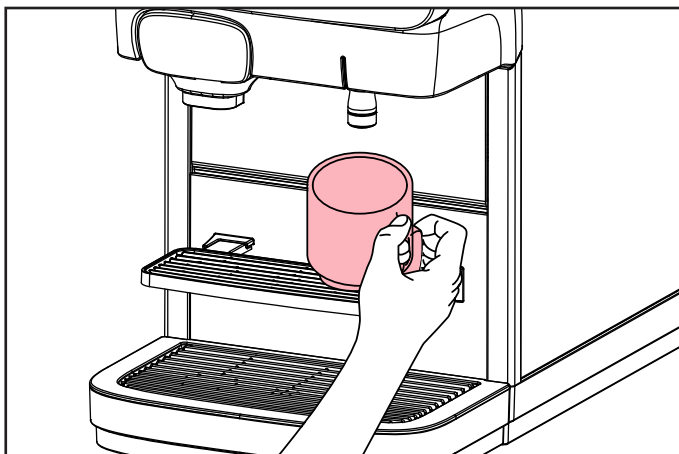


⚠ 注意

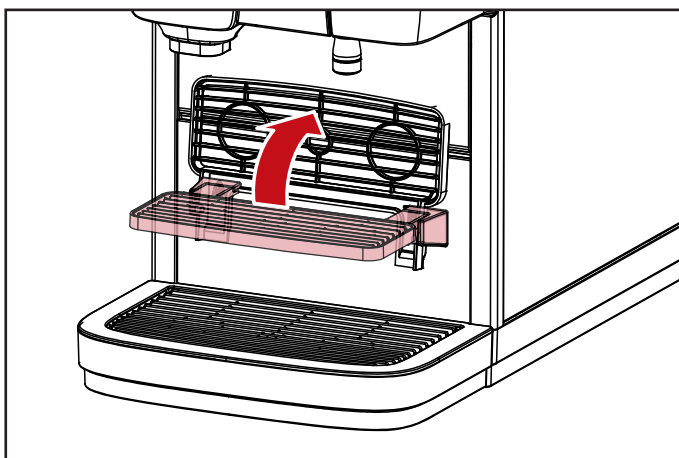
選択するドリンクボタンの下の注ぎ口の下にカップまたはポットを置いてください。

本ディスペンサーには注ぎ口が2つ用意されています。

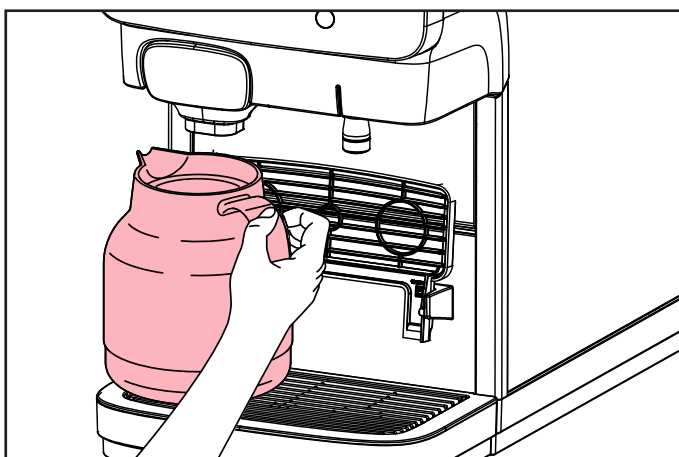
- 左: コーヒーと紅茶用
- 右: 熱湯用



1. カップトレイの上にカップを配置します。



2.1. ポットを置く場合は、カップトレイを上
に倒してスペースを作ります。



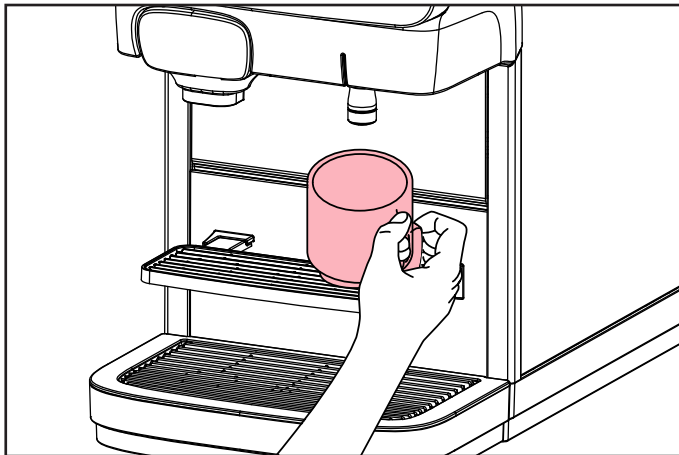
2.2. ドリップトレイの上にポットを配置しま
す。背の高いポットには専用のベースが
必要になる場合があります。

8.3 ドリンクの抽出

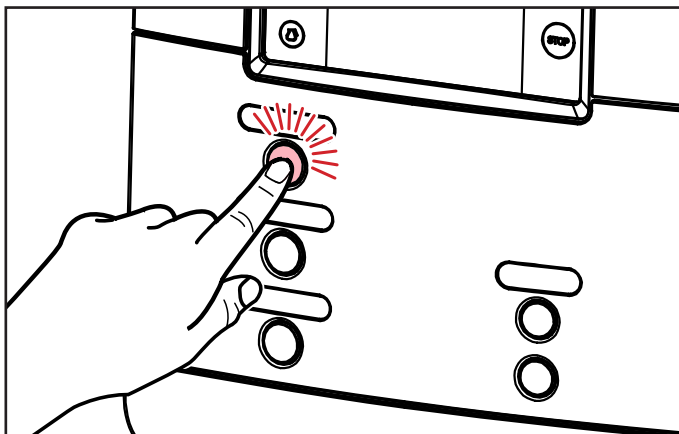
警告



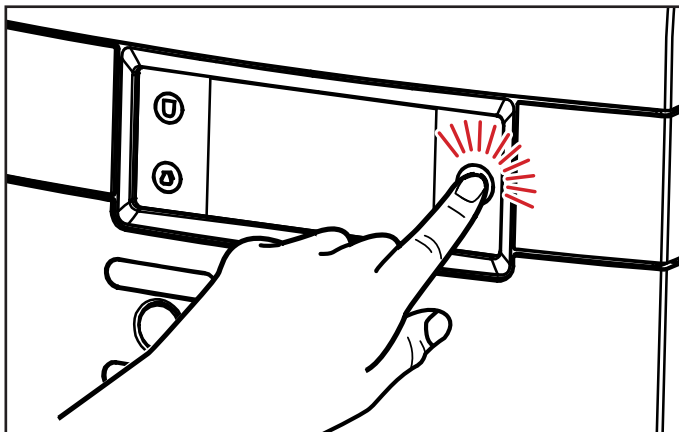
ディスペンサーから抽出される液体は、大変熱くなっています！火傷に注意してください！ドリンクが注がれている間は、本ディスペンサーに手や身体を近づけないでください。本ディスペンサーの近くで、お子様から目を離さないでください。



1. カップトレイの上にカップを配置します。



2. お好みのドリンクボタンを押します。対応する注ぎ口からドリンクが抽出されます。



3. ドリンクの抽出を中断またはキャンセルする場合は、画面の「停止」を押します。

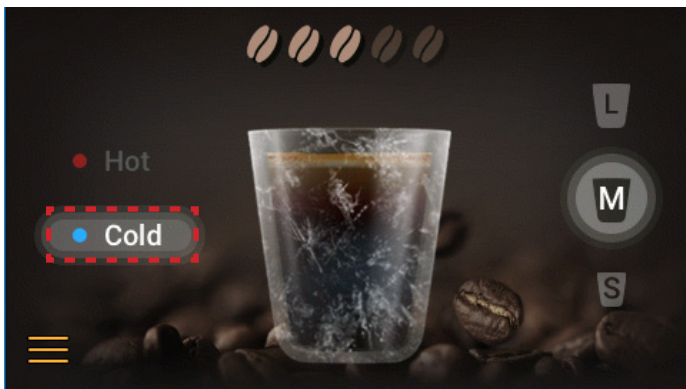
8.4 事前選択ボタンによるドリンクの抽出



ご利用のディスペンサーは、事前選択オプションに対応しています。整備技術者によって、設置中にこれらの事前選択オプションが有効化されていることがあります。事前選択ボタンを押すと、次の事前選択オプションがディスプレイに表示されます。

- 「冷たい」の事前選択（オプション）
- 「分量」の事前選択（小 - 中 - 大）
- 「濃度」の事前選択（薄い - 普通 - 濃い）

8.4.1 「冷たい」の事前選択（オプション）



タッチスクリーンを押して、お好みに「冷たい」を選択します。

8.4.2 分量の事前選択



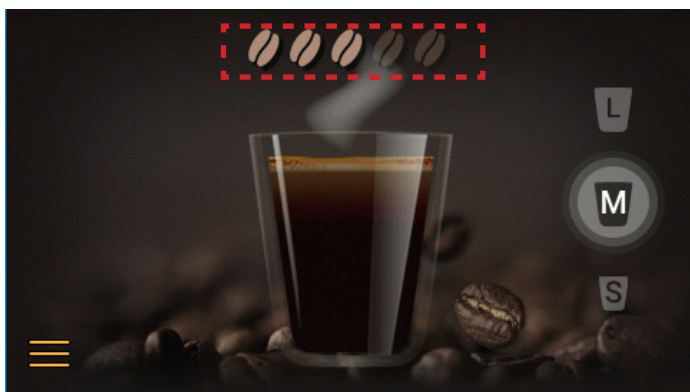
タッチスクリーンを押して、お好みに「分量」を選択します。

8.4.3 濃度の事前選択

⚠ 警告



ディスペンサーから抽出される液体は、大変熱くなっています！火傷に注意してください！本ディスペンサーに手や身体を近づけないでください。



タッチスクリーンを押して、お好みに「濃度」を選択します。

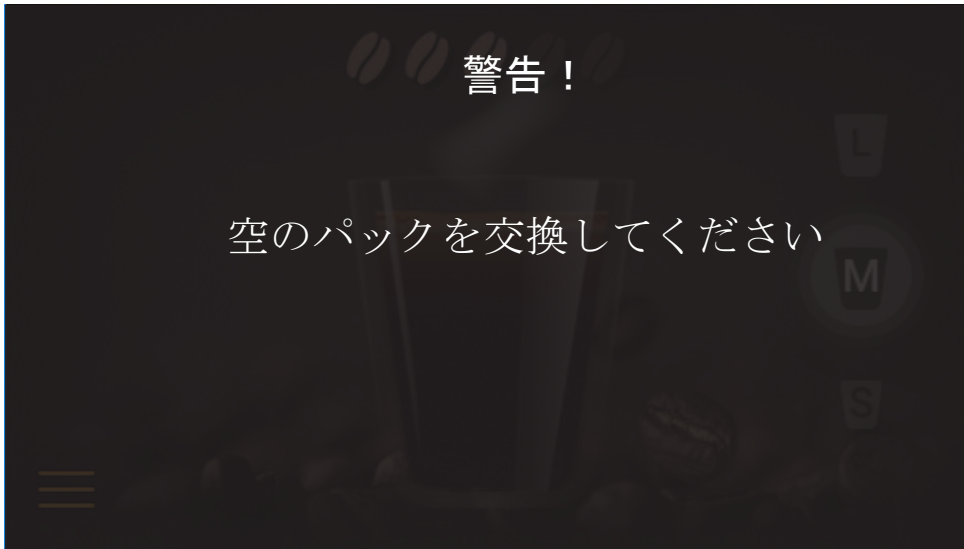


注記:
どの事前選択オプションも併用可能です。



注記:
事前選択を押した場合は、抽出ボタンを押さないでください。押すと、数秒後にディスペンサーがデフォルトの状態に戻ります。

8.5 製品パックのセットと交換



ドリンクを選択しても、対応する製品パックが空になっていると、ドリンクは抽出されません。ディスプレイに「空のパックを交換してください」という警告が表示されます。ただし、熱湯と冷水は利用可能です。



注記:

保守メニューを介して、オペレーター番号をご自身で入力できます（「ディスペンサーのプログラミング」を参照）。

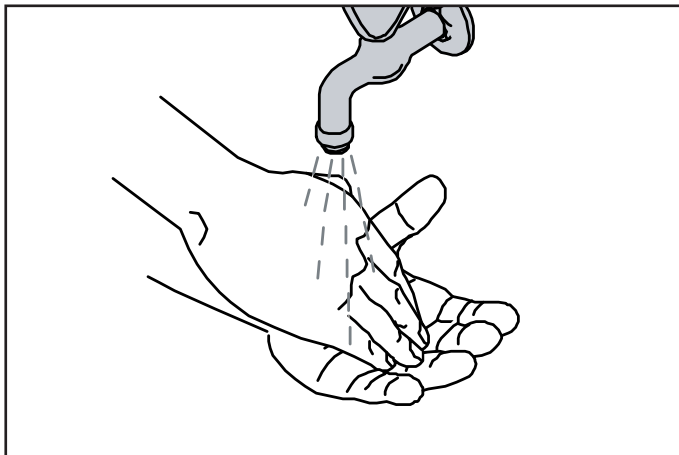
8.6 空の製品パックの交換



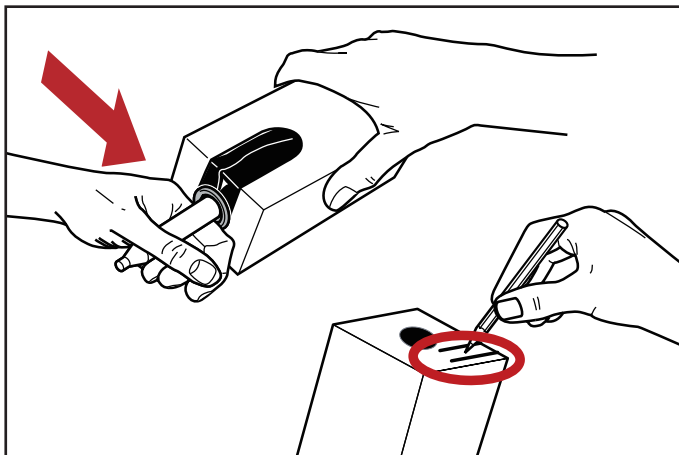
⚠ 注意

新しい製品パックをセットする前に、「食品安全のための注意事項 (HACCP)」の章に記載されている注意事項に従ってください。

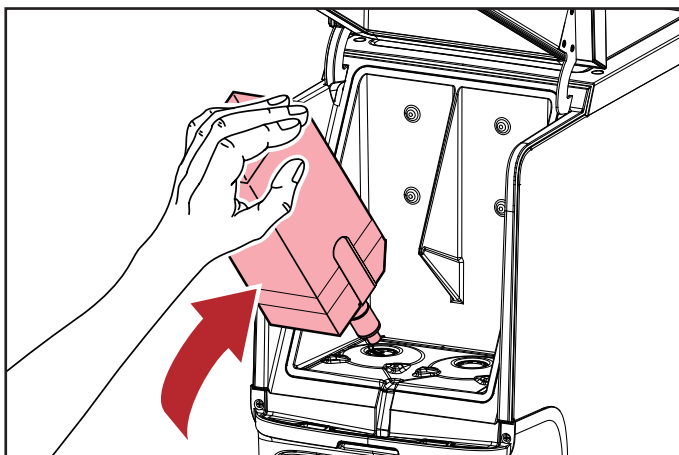
製品パックに記載されている注意事項を読んでください。破損した製品パックは決して使用しないでください。「賞味期限」が切れている製品パックは使用しないでください。



1. 製品パックに触れる前に手を洗います。凍っている製品パックは使用しないでください。次に、製品パックを10回以上振ってください。



2. プラスチックラップを取り除き、消費期限を製品パックに記入します。製品パックに記載されている注意事項に従って、計量装置を開けてください。



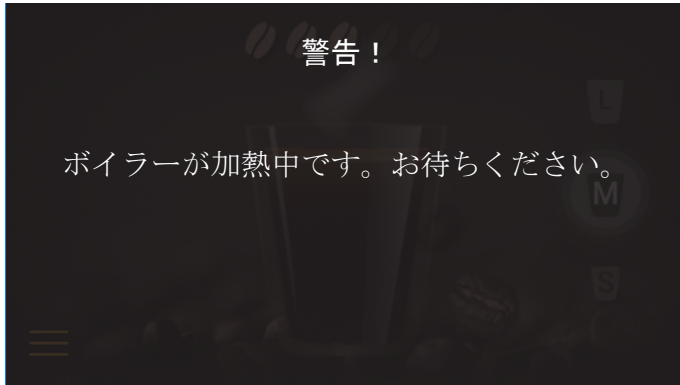
3. ディスペンサードアを開けて、製品パックをセットします。セットしたら、ディスペンサードアを閉じます。テストとしてドリンクを一杯抽出してください。

8.7 ディスペンサーのスイッチを入れる



⚠ 注意

ディスペンサーが水道に連結されていることを確認してください。



1. 水栓を開いて、電源プラグを差し込みます。ディスペンサーが水の加熱と冷却コンパートメントの冷却を開始します。ボイラー内の水が適温に達するまで、ドリンクの抽出はできません。ディスプレイで温度計が点滅し、「ボイラーが加熱中です。お待ちください。」という警告が表示されます。



2. 水温が設定温度に達すると、ディスプレイにホーム画面が表示されます。ディスペンサーはこれで操作準備が完了しました。



注記:

ディスペンサーの種類ごとの加熱性能によって異なりますが、17分*以内に過熱が完了します。冷却コンパートメントの冷却は、20時間以内に完了します。

*デフォルトの電力設定（200-240V、単相、16A）での加熱時間



注記:

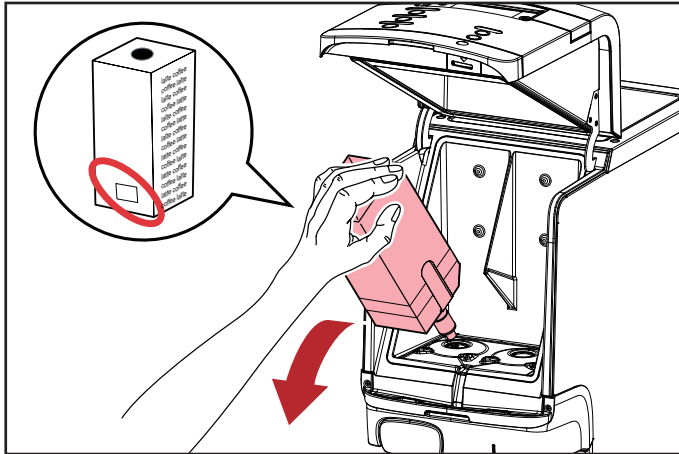
ディスペンサーを長期間使用しなかった場合は、日付と時刻を設定し、ディスペンサーとプログラミングされたクリーニング間隔を利用できるようにする必要があります。

8.8 ディスペンサーのスイッチを切る



警告

製品パックは凍らせないでください！



1. 製品パックを取り外し、消費期限を確認します。製品パックは、ディスペンサーの使用を再開するまで冷蔵庫で保管します。消費期限が過ぎている場合、その製品パックは処分してください。



2. ディスペンサーをクリーニングします（9.5および9.6の項の手順に従います）。電源プラグをコンセントから抜きます。水栓を閉じます。

8.9 ディスペンサーのロック/ロック解除



1. 画面にロックアイコンが表示されている場合、ドリンクの抽出はできません。冷却コンパートメントとボイラーは稼働し続けます。本装置のロックを解除するには、ロックアイコンを押します。



2. PIN (1234) を入力してアクセスします。



3. 本装置のロックが解除されます。

9- クリーニング

9.1 安全なクリーニングのために

⚠ 危険



濡れた手で通電中のケーブルや部品に触れないでください。
電力の取り扱いにおいては、事故防止の規定を遵守してください。
保守作業、クリーニング作業、および修理作業を行う前に、CAFITESSE QUANTUM TOUCHの電源を切って、再稼働しないことを確認します。

⚠ 警告



本装置のクリーニングには、食品環境に適した、JDEが推奨する洗剤のみを使用してください。
JDEが承認していない不適切な洗剤を使用すると、劣化が進み、装置に不具合が発生する原因となる可能性があります。
メーカーが提供する使用上の注意事項と安全に関するアドバイスを必ず守るようにしてください！



コーヒーマシン内部の表面は高温になります！
クリーニング作業と保守作業を行う前に本装置の温度が下がるまで待機してください。

厳しい衛生要件を満たしたドリンクを本装置で抽出するには、十分なクリーニングと保守が不可欠です。その好ましい一例として、自動クリーニングプログラムによる整備を紹介します。高品質の飲み物を提供し、装置を衛生的かつ確実に稼働させるために、クリーニングと保守の注意事項に従うことが極めて重要です。決められた間隔でクリーニングと保守を必ず実施して、入念に保守している場合に限り、本装置が適切に機能し、お客様にご満足いただける最高品質のコーヒーを抽出することができます。

9.2 クリーニングの手順

⚠ 注意



食品安全上の理由により、「クリーニング」プログラムの実行は、最低でも週に1度行うことが義務づけられています。

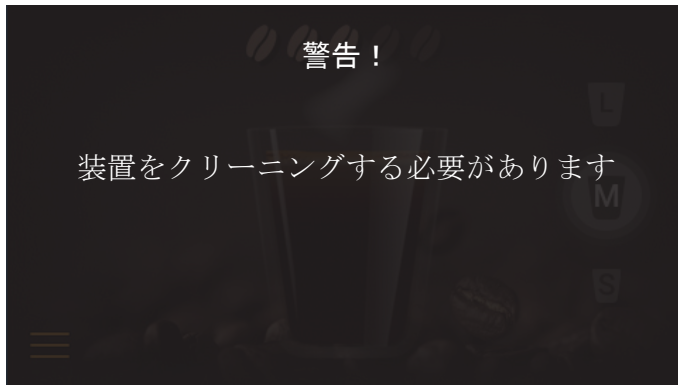


図1

クリーニングには、以下の2種類のプログラムがあります。

- ドリンク注ぎ口の「洗淨」。
- 冷却コンパートメントとドリンク注ぎ口の「クリーニング」。

サービスプロバイダーは、オペレーターメニューの「クリーニング日」で「洗淨」プログラムと「クリーニング」プログラムの曜日を選択することができます。

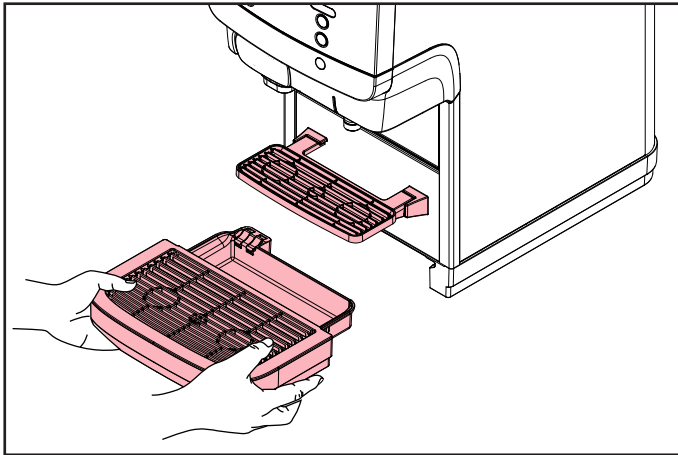
ディスペンサーのクリーニングが必要になるとき

ディスプレイに警告が表示されたら、クリーニングプログラムを実行してください（図1を参照）。

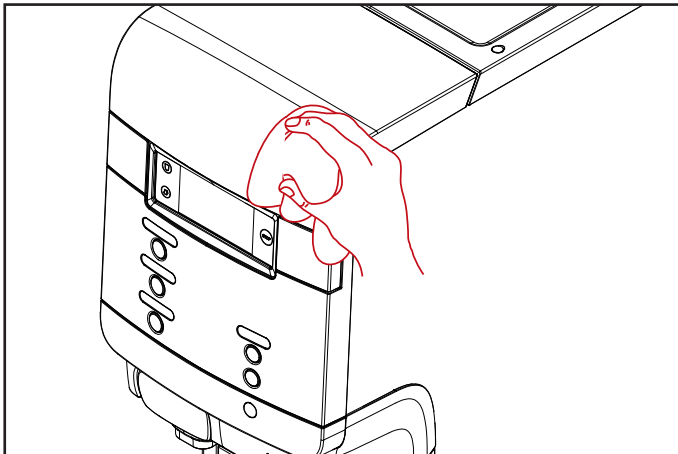
24時間以内にディスペンサーのクリーニングや洗淨が行われないと、抽出がブロックされるようになっています。

ディスペンサーでドリンクの提供を再開するには、クリーニングプログラムを実行して完了する必要があります。

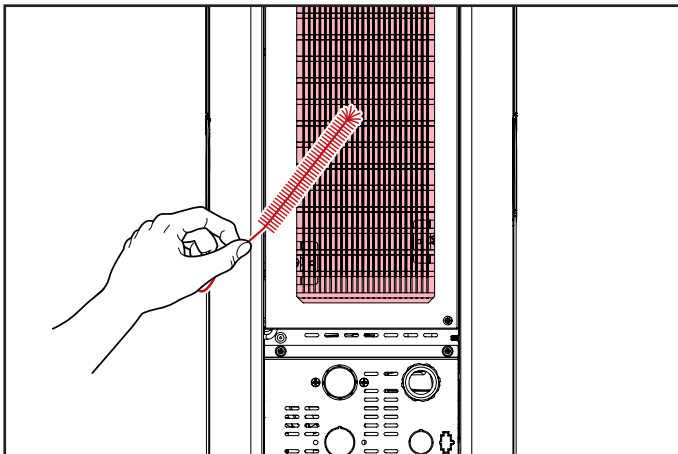
9.3 本体外側のクリーニング



1. ドリップトレイとカップトレイを外します。必要に応じてドリップトレイの中身を捨ててください。ドリップトレイとカップトレイを、ぬるま湯の流水をかけながら布またはブラシでクリーニングします。食器洗い機を使用する場合は、食品業界で認可されている洗剤を使用して、ぬるま湯で15分間クリーニングします。



2. ディスペンサーの外側を湿らせた清潔な布でふきます。



3. コンデンサーのフレームのクリーニング:
 作業側側に装置の背面を向けてください。ブラシを使用してコンデンサーをクリーニングします（月1回、またはほこりの多い場所に配置した場合はそれ以上の頻度でクリーニングしてください）。装置を元の場所に戻します。



注記:
 ディスペンサーの外側は、毎日清掃することをお勧めします。



注記:
 アルコールなどの強力な洗剤を使用すると、装置の表面に取り返しのつかない損傷が生じる可能性があります。

9.4 洗淨

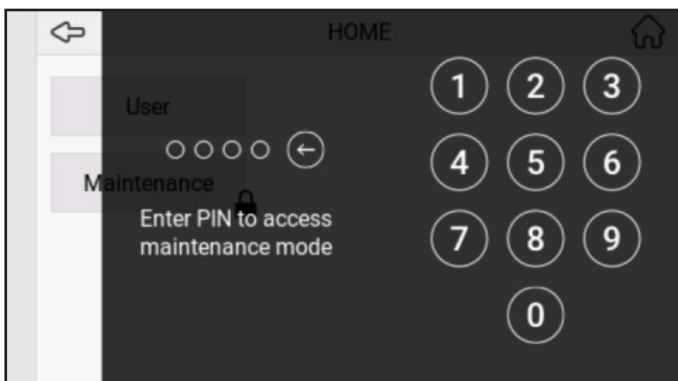
警告



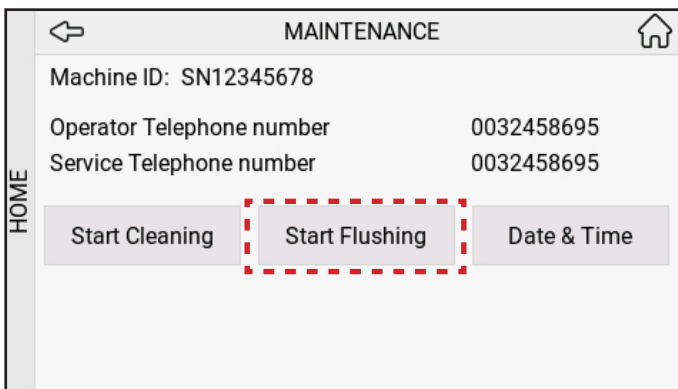
洗淨水は大変熱くなっています！火傷に注意してください！洗淨プロセスの間は、ディスペンサーに手や身体を近づけないでください。お子様には洗淨作業をさせないでください。



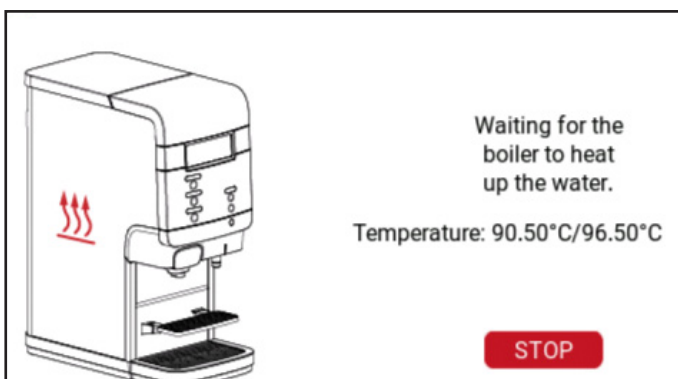
1. (A)を押してから(B)を押して、保守モードにします。



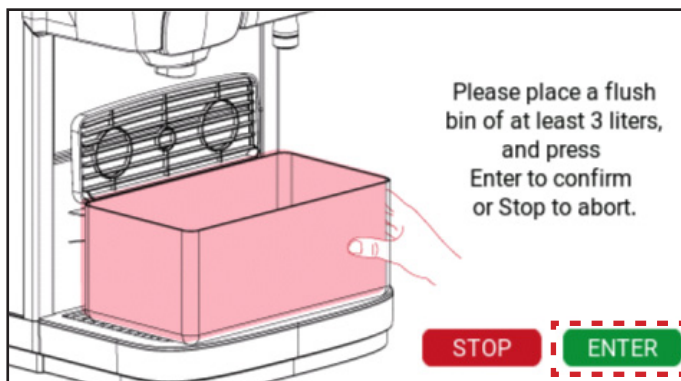
2. PINを入力して保守モードでアクセスします。



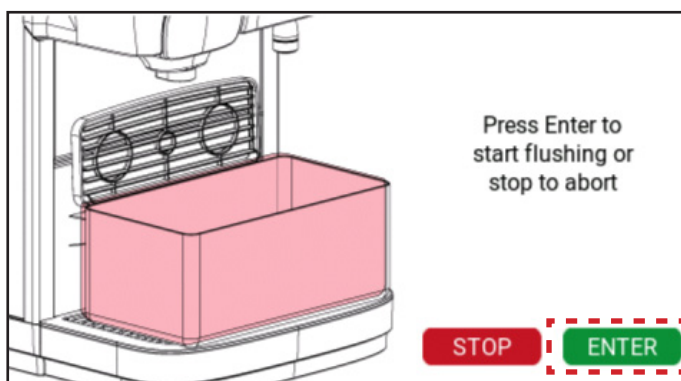
3. 「洗淨を開始」を押します。



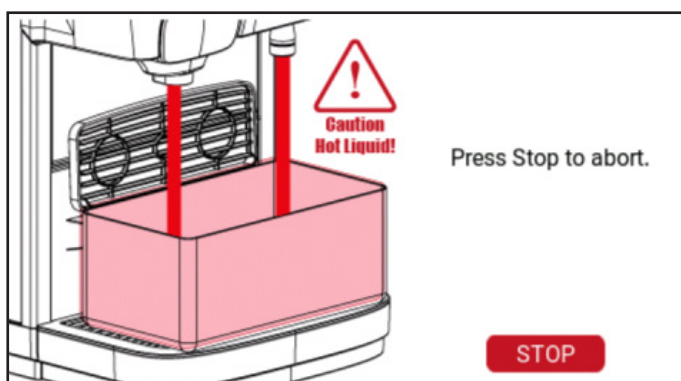
4. ボイラーで水が加熱されるまで待機します。



5. 液受け容器を置いて、「実行」を押します。



6. 「実行」を押して洗浄を開始します。



7. 洗浄が完了するまで待機します。中止する場合は、「停止」ボタンを押します。

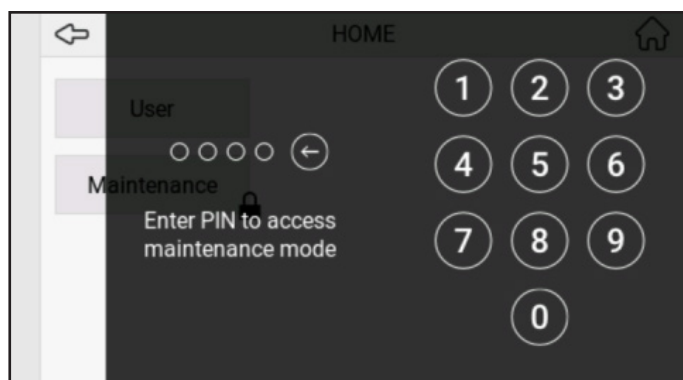


注記:
いつでもディスペンサーを洗浄できます。

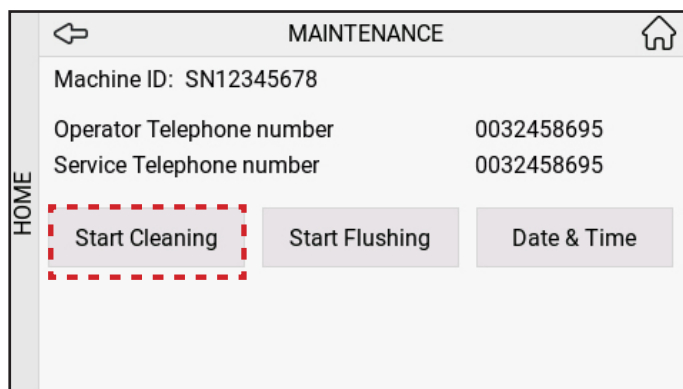
9.5 クリーニング - Q100およびQ300



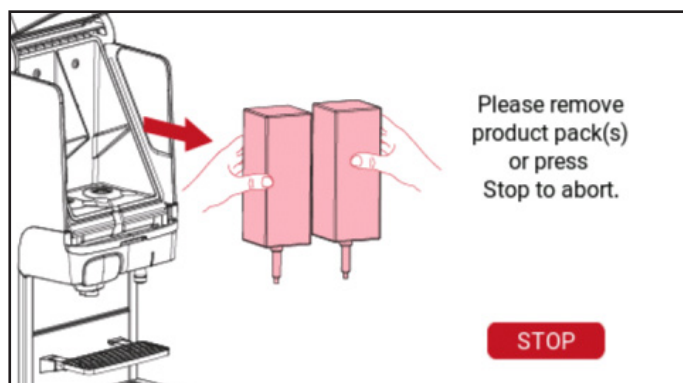
1. (A) を押してから (B) を押して、保守モードにします。



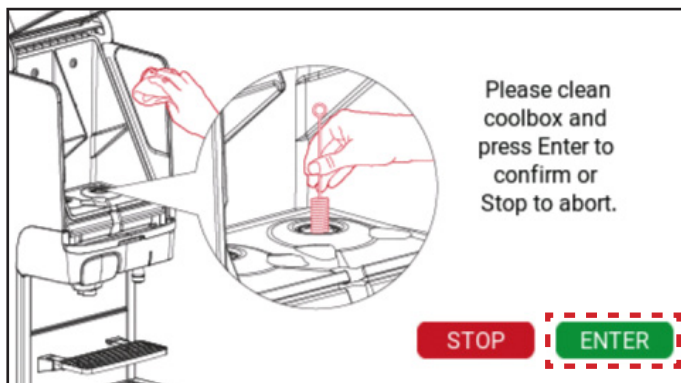
2. PINを入力して保守モードでアクセスします。



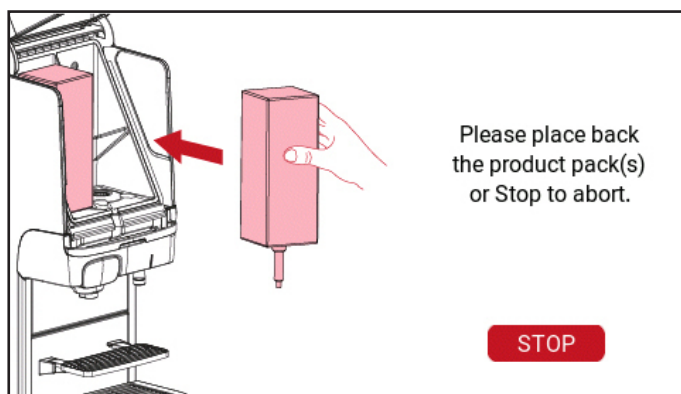
3. 「クリーニングを開始」を押します。



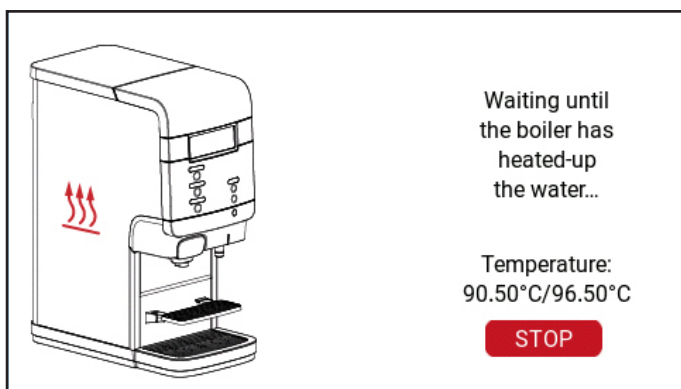
4. 製品パックを取り外します。



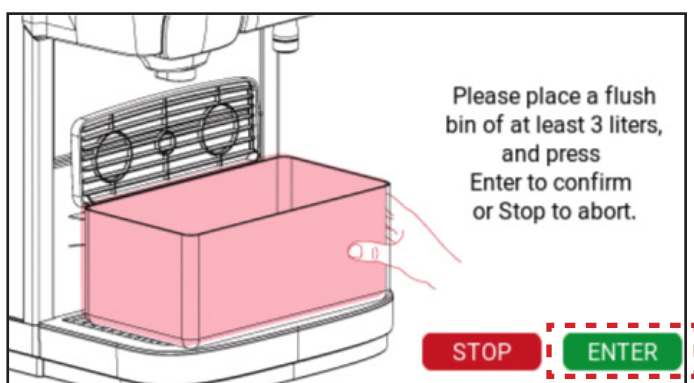
5. 冷却ボックスをクリーニングして、「実行」を押します。



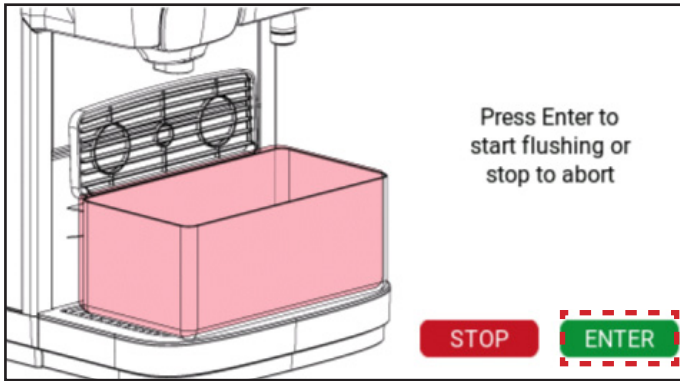
6. 製品パックを再度セットします。



7. ボイラーで水が加熱されるまで待機します。



8. 液受け容器を置いて、「実行」を押します。



9. 「実行」 を押して洗浄を開始します。



10. 洗浄が完了するまで待機します。



11. ドリップトレイを外してクリーニングします。

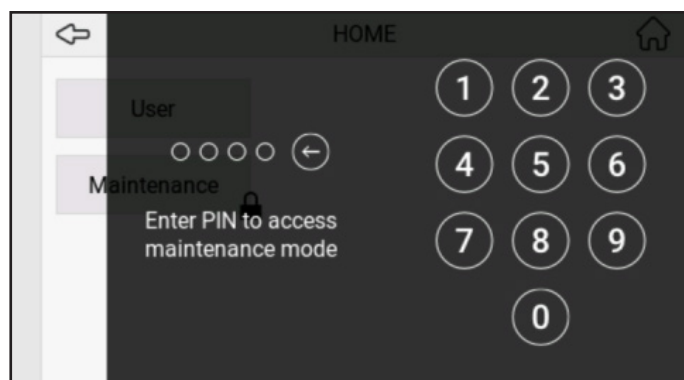


12. ドリップトレイをクリーニングしたら、元の場所に戻します。

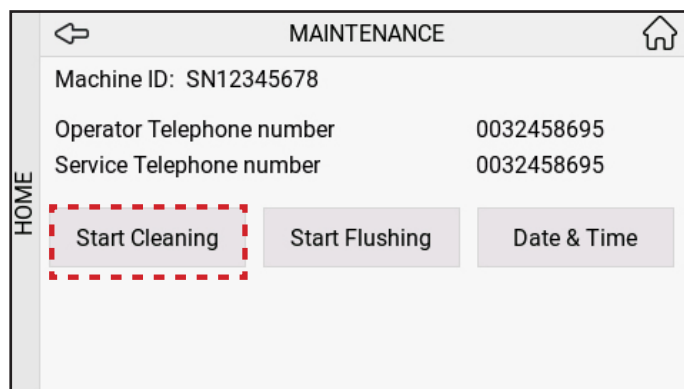
9.6 クリーニング - Q200



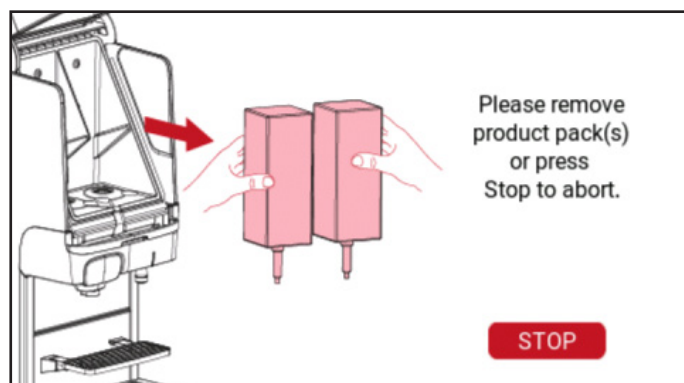
1. (A) を押してから (B) を押して、保守モードにします。



2. PINを入力して保守モードでアクセスします。



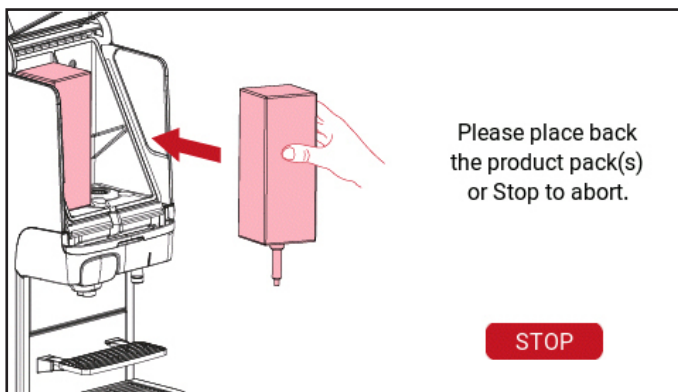
3. 「クリーニングを開始」を押します。



4. 製品パックを取り外します。



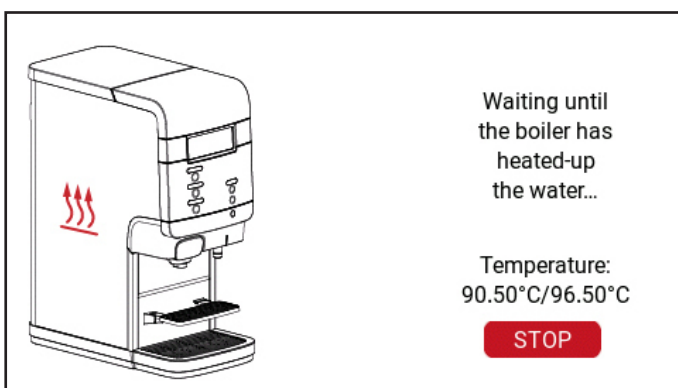
5. 冷却ボックスをクリーニングして、「実行」を押します。



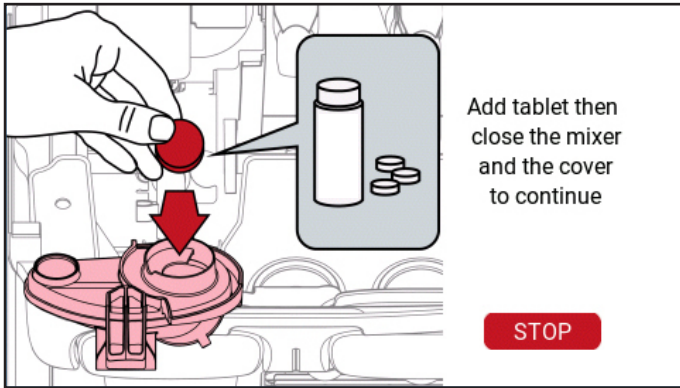
6. 製品パックを再度セットします。



7. 調合ボウルを交換します。
洗剤を入れたぬるま湯に15分間浸します。
備考：承認された洗浄剤はP50に記載されている。

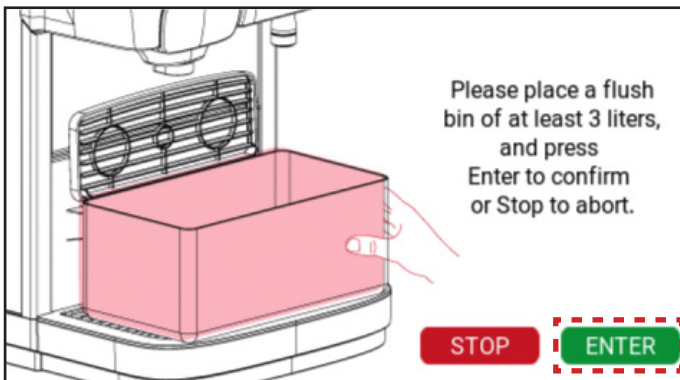


8. ボイラーで水が加熱されるまで待機します。

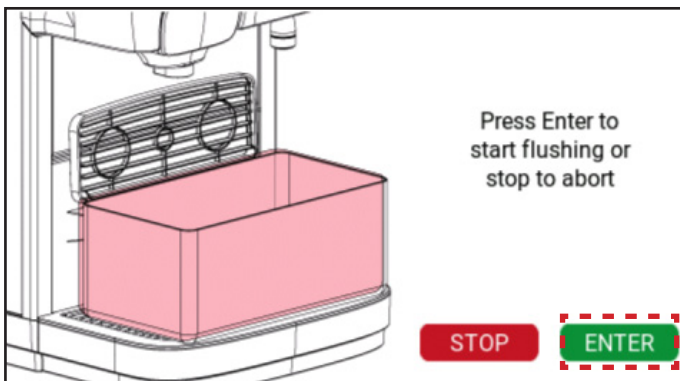


9. ミキサーに洗浄タブレットを入れます。ミキサーとカバーを閉じます。

備考：承認された洗浄剤はP50に記載されている。



10. 液受け容器を置いて、「実行」を押します。



11. 「実行」を押して洗浄を開始します。



12. 洗浄が完了するまで待機します。



13. ドリップトレイを外してクリーニングします。



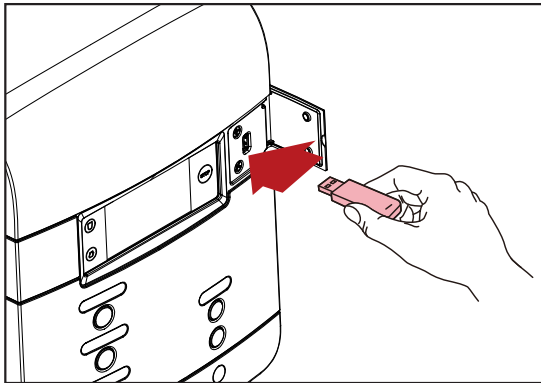
14. ドリップトレイをクリーニングしたら、元の場所に戻します。

承認済み清掃タブレット一覧

| 背番号 # | 概要 | サプライヤー |
|-------|-----------------------------------|---------|
| 1 | Rinza M61 | Urnex |
| 2 | Cafetto Red 4.0 | Cafetto |
| 3 | lujoCLEAN Milk System Cleaner Tab | Lujo |

10- ユーザープログラミング

10.1 オペレーターモードを有効にする



カバーを外し、提供されているオペレーター用USBキーを差し込みます。

すぐにオペレーターモードが起動します。

整備技術者が、一部のメニューアイテムを無効にする場合があります。設定の変更が必要な場合は、担当のカフイテスシステムサプライヤーに連絡してください。

以下のメニューが用意されています。

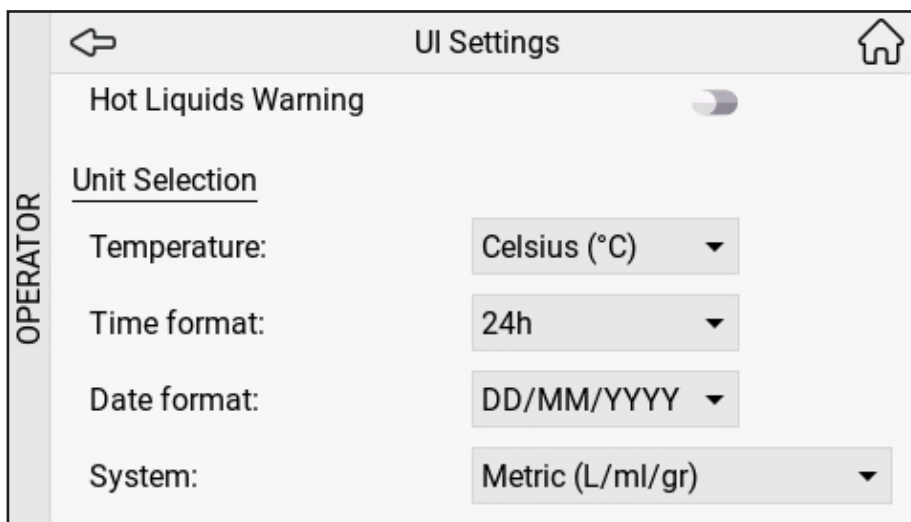
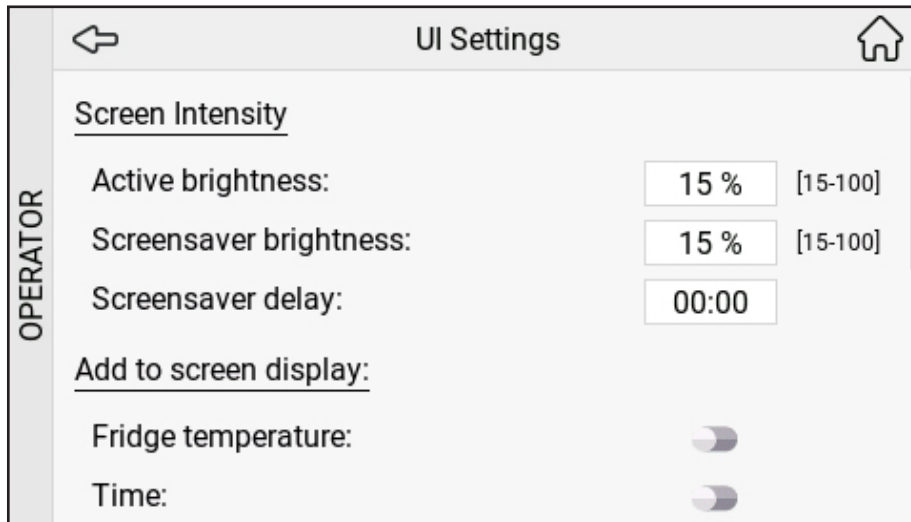
- UI設定 - 明るさと画面表示を調整する
- 日付/時刻 - 日付と時刻を設定する
- 言語 - 言語を設定する
- エコ設定 - エコタイマーを設定する
- 夏時間/冬時間 - 夏時間/冬時間の自動調整を設定する
- ハッピーアワー - 無料提供の時間帯を設定する
- 自動販売 - ドリンクの価格と自動販売モードを設定する
- リセットできないカウンター - カウンターを表示する
- クリーニングのスケジュール - クリーニング日を設定する
- リセット可能カウンター - カウンターを表示およびリセットする
- 給水システム - 浄水フィルターを設定する
- システム情報 - システムの情報を表示する
- 連絡先情報 - 連絡先情報を入力する
- 保守用PIN - クリーニングと洗浄
- ドリンクに関するグローバル設定 - ドリンクの分量と濃度を調整する



注記:

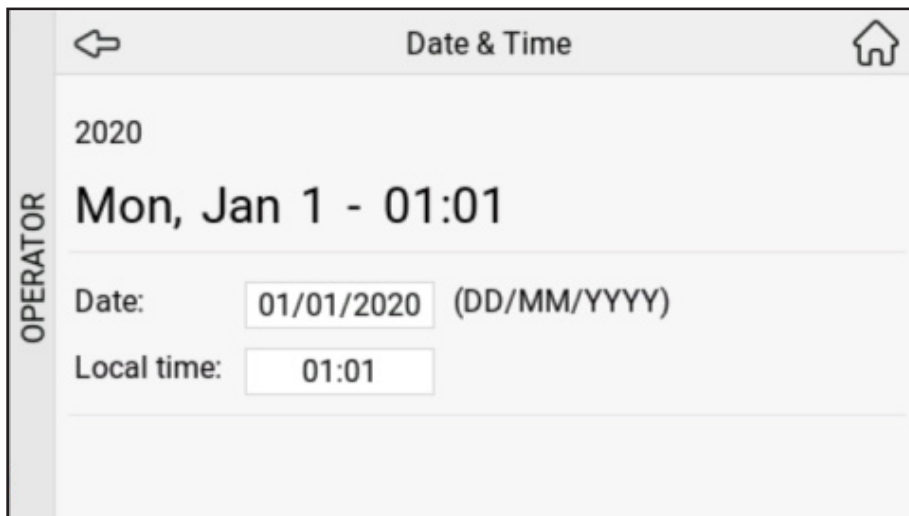
販売地域により、ディスペンサーのプログラミングがご利用いただけない場合があります。ディスペンサーの設定により、一部のメニューが無効化されている場合があります。

10.2 UIの設定



UI設定メニューでは、画面の輝度を調整して画面表示を設定することができます。画面表示の単位の形式を設定できます。

10.3 日付/時刻



日付/時刻メニューでは、日付と時刻を調整することができます。

10.4 言語



言語メニューでは、ユーザーが選択できる言語を選択できます。表示順序やデフォルト言語を選択することもできます。

10.5 エコ設定

←
ECO mode
🏠

Eco Mode Enabled:

Eco Control Mode: ECO mode ▼

ECO mode temperature: 60.0 °C [0.0-96.5]

Wakeup Enabled:

Wakeup Timeout (minutes): 10 [1-60]

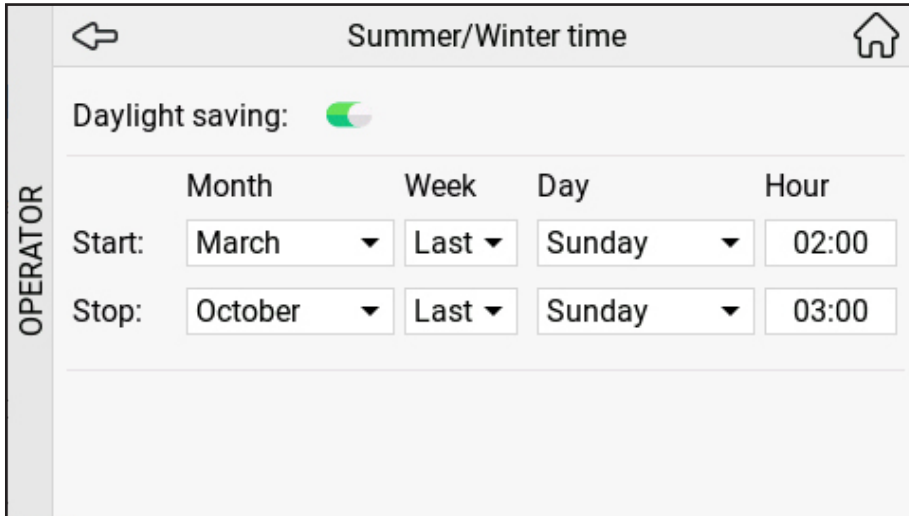
Holiday Mode Enabled:

Holiday Period (days): 2 [1-4]

| | Day | Full day | Eco End | Eco Begin | Copy |
|----------|-----------|--------------------------|--|--|------|
| OPERATOR | Monday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Tuesday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Wednesday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Thursday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Friday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Saturday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |
| | Sunday | <input type="checkbox"/> | 06:45 | 19:00 | |

エコ設定メニューでは、エコモードの有効化と無効化の切り替え、スリープ自動解除（ドリンクの抽出が必要なときにエコモードを中断できる機能）の設定、曜日ごとのエコモード時間の設定を行うことができます。

10.6 夏時間/冬時間



| | Month | Week | Day | Hour |
|--------|---------|------|--------|-------|
| Start: | March | Last | Sunday | 02:00 |
| Stop: | October | Last | Sunday | 03:00 |

夏時間/冬時間メニューでは、夏時間/冬時間の自動調整を設定することができます。

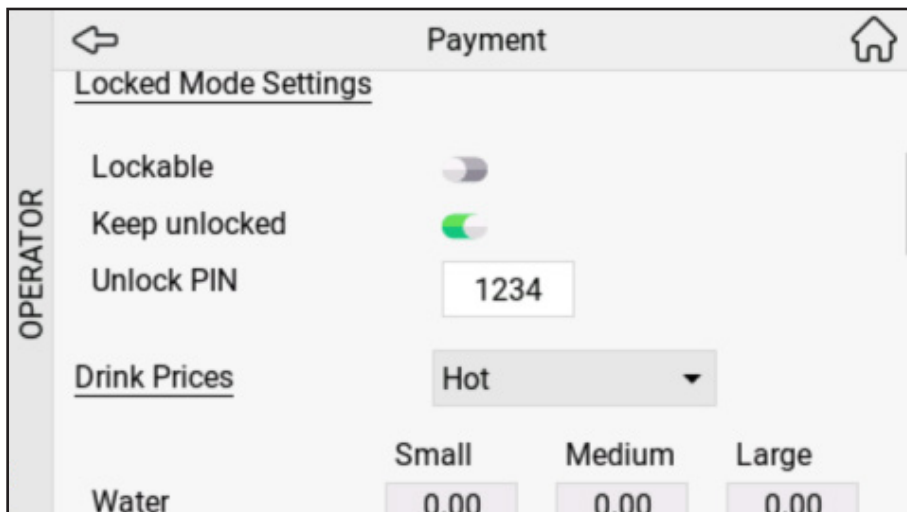
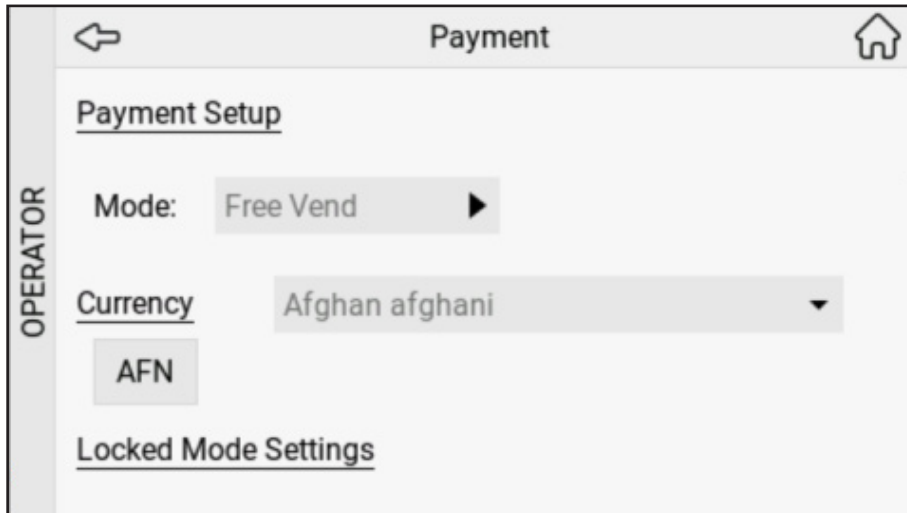
10.7 ハッピーアワー



| Day | Enable | Action |
|-----------|--------|--------|
| Monday | Off | Trash |
| Tuesday | Off | Trash |
| Wednesday | Off | Trash |
| Thursday | Off | Trash |
| Friday | Off | Trash |

ハッピーアワー設定メニューでは、1日のうちドリンクを無料で注ぐことができる時間帯を4つ設定できます。また、必要に応じて、ハッピーアワーを有効または無効にすることもできます。

10.8 自動販売



自動販売メニューでは、自動販売メニューの選択、通貨の選択、ドリンクの価格の設定を行うことができます。

10.9 リセットできないカウンター

| Non-resettable Counters | | | |
|-------------------------|-------|--------|---|
| Drink: | Water | | |
| OPERATOR | | Hot | |
| | Paid | Small | 0 |
| | | Medium | 0 |
| | | Large | 0 |
| | | Total | 0 |
| | Small | 0 | |

| Non-resettable Counters | | | |
|-------------------------|-----------|-----------|---|
| OPERATOR | | Large | 0 |
| | | Total | 0 |
| | Free | Small | 0 |
| | | Medium | 0 |
| | | Large | 0 |
| | | Total | 0 |
| | Pots | (in cups) | 0 |
| | Free flow | (in cups) | 0 |

リセットできないカウンターメニューでは、各ドリンクを個々に選択して抽出されたドリンク数を表示することができます。

10.10 クリーニングのスケジュール

| Cleaning Schedule | | | |
|-------------------|--------------------------|--|--------------------------|
| OPERATOR | Cleaning regime enabled | <input checked="" type="checkbox"/> | |
| | Cleaning compulsory | <input type="checkbox"/> | |
| | Day | Clean & Flush | Flushing Only |
| | Valid schedule | <div style="background-color: green; width: 100%; height: 5px;"></div> | |
| | Monday | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | Tuesday | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | Wednesday | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | Thursday | <input checked="" type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | Friday | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| | Saturday | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| Sunday | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | |

「クリーニング日」メニューでは、ディスペンサーにクリーニングの自動リクエストが表示される曜日を設定できます。自動リクエストを表示する曜日には「はい」を選択し、クリーニングリクエストを表示しない曜日には「いいえ」を選択します。



注記:

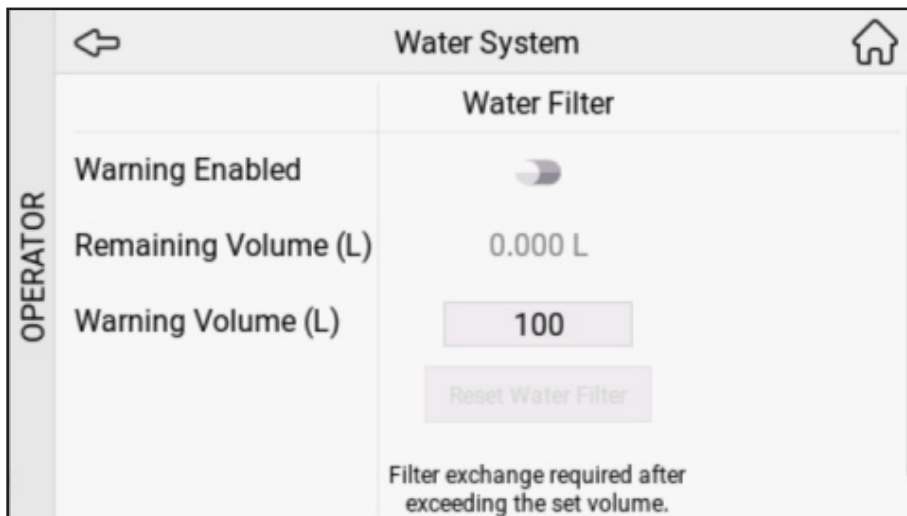
必要に応じて、最小必要日数よりも多くの日をクリーニング日として設定することができます。

10.11 リセット可能カウンター



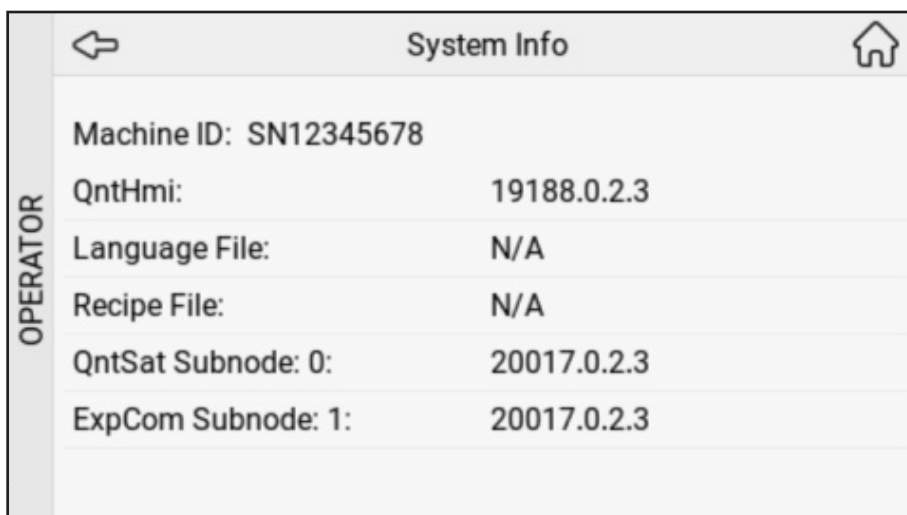
リセット可能カウンターメニューでは、前回のリセット以降に各ドリンクを個々に選択して抽出されたドリンク数を表示できます。「すべて」を押して、すべてのドリンクカウンターを一括してリセットすることもできます。

10.12 給水システム



給水システムメニューでは、浄水フィルターの警告の有効化と無効化を切り替えて、浄水フィルターを利用できる残りの供給量を確認することができます。

10.13 システム情報



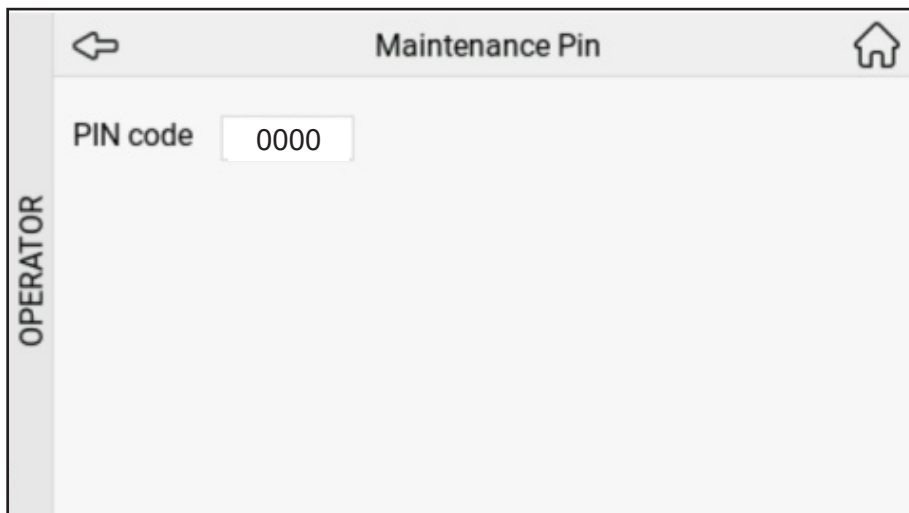
システム情報メニューでは、「装置ID」、「QntHmi」、「言語ファイル」、「レシピファイル」、「QntSatサブノード」、「ExpComサブノード」の情報を確認できます。

10.14 連絡先情報



連絡先情報メニューでは、オペレーターとサービスプロバイダーの電話番号を設定できます。

10.15 保守用PIN



保守用PINメニューでは、PINを設定できます。

10.16 ドリンクに関するグローバル設定



ドリンクに関するグローバル設定メニューでは、スライダーを左右に動かして、グローバルの濃度と分量を調整できます。新しい濃度のパーセンテージ(XX%)を表示できます。

11- 表示メッセージとトラブルシューティング

| アイコン | ディスプレイメッセージ | 原因 | 対処方法 |
|---|-----------------|--|---|
|  | 右側のパックを補充してください | 原料パックが空になっています（右側）。 | 右側の原料パックを交換してください。 |
|  | 左側のパックを補充してください | 原料パックが空になっています（左側）。 | 左側の原料パックを交換してください。 |
|  | 両方のパックを補充してください | 両方の製品パックが以下の状態になっています。 1. 空になっている 2. 位置が正しくない 3. セットされていない | 空の製品パックを新しいものと交換してください。 パックが正しくセットされているか確認します。 製品パックをセットしてください。 ディスプレイに番号が表示された場合は、オペレーターへ連絡します。 |
|  | - | クリーニングが必要です。 ディスペンサーのクリーニングが必要です。 | 24時間以内に「クリーニング」プログラムを実行してください。ディスプレイに電話番号が表示された場合は、オペレーターに連絡してください。 |
|  | クリーニングが必要 | クリーニングの期限が過ぎました。指定時間内にディスペンサーのクリーニングプログラムが実行されなかったため、ドリンクの提供が休止されています。 | ただちに「クリーニング」プログラムを実行してください。ディスプレイに電話番号が表示された場合は、オペレーターに連絡してください。 |

12- オプション

この項にリストされている機能とオプションは、国によっては適用されない場合があります。詳細は、Cafitesseシステムサプライヤーにお問い合わせください。

12.1 ソフトウェアオプション

お客様のご要望に応じて、整備技術者が、デイスペンサーの特定の機能の有効化と無効化を切り替えることができます。

次に例を示します。

- ドリンクのレシピ、選択、濃度、または一杯の分量の別の設定。
- ドリンクの濃度（薄い、普通、濃い）や一杯の分量（小、中、大）の予備選択キーを使用できるように、またはできないようにする。
- 一杯分の抽出または連続抽出。
- お客様専用の省エネルギー設定。
- お客様の要求仕様に従った専用のクリーニング設定。

Welbilt (Hangzhou) Foodservice Co., Ltd
No. 800 Binkang Road, Binjiang District, Hangzhou, Zhejiang, China

crem.coffee